

子ども支援日本医師会宣言に関する調査結果

平成 20 年 3 月

日本医師会母子保健検討委員会

目 次

子ども支援日本医師会宣言に関する調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・	1
子ども支援日本医師会宣言に関する調査結果 《一覽》・・・・・・・・・・	2
子ども支援日本医師会宣言に関する調査結果 《詳細》・・・・・・・・・・	3

参考

「子ども支援日本医師会宣言に関する調査」の協力依頼について

子ども支援日本医師会宣言

日本医師会母子保健検討委員会委員

子ども支援日本医師会宣言に関する調査結果

調査目的：会長諮問「子ども支援日本医師会宣言を実行していくための具体的方策」の答申の中に、子ども支援日本医師会宣言に掲げる施策に対し、具体的に取り組んでいる医師会の事業を盛り込むことにより、他の医師会の参考としてもらい、子ども支援日本医師会宣言の推進に資する。

調査対象：都道府県医師会

調査期間：平成19年8月～9月

調査内容：①子ども支援日本医師会宣言に掲げる施策（8を除く）の中で、都道府県医師会及び管下郡市区医師会において先駆的に行われている、事業をそれぞれ選び（複数可）、その事業名等を回答してもらう。

②上記の中で最も先駆的に行われている事業については、具体的に回答をしてもらう。

回答結果：①47都道府県医師会、全ての医師会より回答があり、回答率100%

②各都道府県医師会で、子ども支援日本医師会宣言に掲げる施策（8を除く）の中で、一番実施している施策は、学校保健の充実であった。

③各都道府県医師会で、子ども支援日本医師会宣言に掲げる施策（8を除く）の中で、実施しているのが少ない施策は、満足できる妊娠・出産に関する社会環境の整備の取り組みであった。

④郡市区医師会まで調査を行った都道府県医師会もあり、医師会毎に調査対象に差があるため、施策の数のみにおける評価はできない。

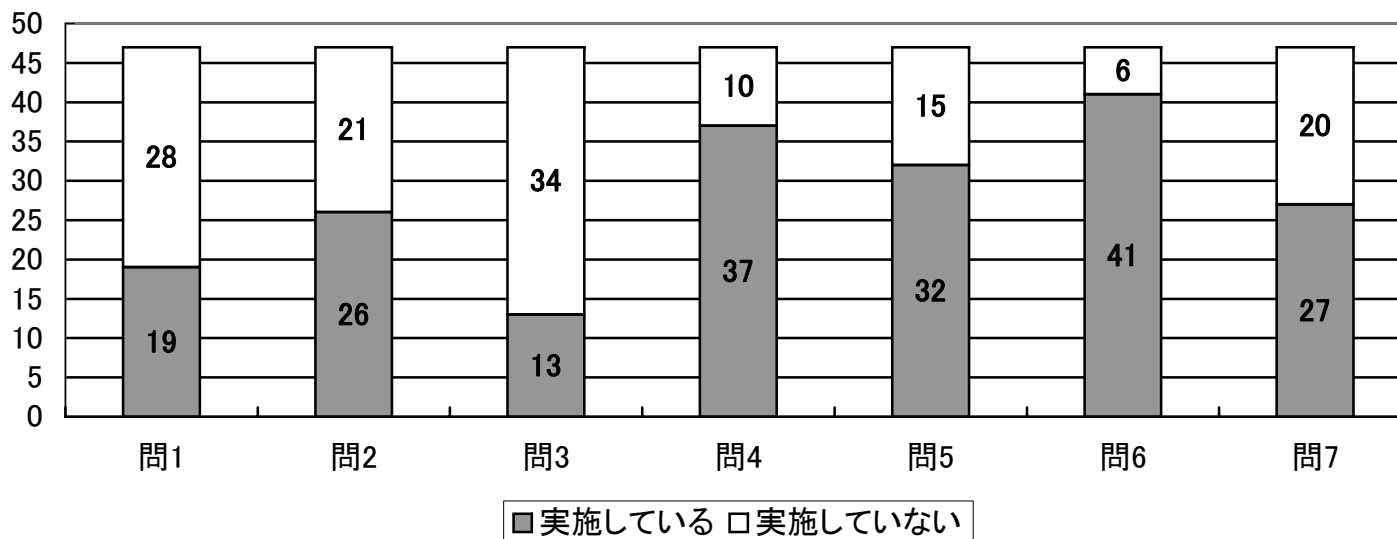
⑤全体的に各都道府県の医師会で多くの取り組みがなされていることが、わかった。

子ども支援日本医師会宣言に関する調査結果 《一覧》

平成19年10月現在 回答数:47都道府県

合計数 ※県単位の合計数

	実施している	%	実施していない	%	新たに予定する事業がある
問1:妊娠を望む人たちへの支援を行っていますか	19	40%	28	60%	4
問2:より安全な妊娠・出産に向けての医療環境の充実を行っていますか	26	55%	21	45%	4
問3:満足できる妊娠・出産に関する社会環境の整備を行っていますか	13	28%	34	72%	8
問4:子どもが育ちやすい医療環境の充実を行っていますか	37	79%	10	21%	10
問5:子育てに関する社会環境の整備を行っていますか	32	68%	15	32%	3
問6:学校保健の充実を行っていますか	41	87%	6	13%	5
問7:障害児への支援を行っていますか	27	57%	20	43%	7



子ども支援日本医師会宣言に関する調査結果 《詳細》

平成19年10月現在 回答数:47都道府県

問1:妊娠を望む人たちへの支援を行っていますか			
		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
1	北海道		・H19年4月に北海道医師会母子保健対策推進委員会を設置【北海道医師会】
5	秋田	・「特定不妊治療費助成事業」を秋田県と協力【秋田県医師会】	
6	山形	・母親学級、プレママ広場への協力(市町村主催の女性講座等での講演)【新庄市最上郡医師会】 ・インターネットによる医療相談「メディカルパーク」事業 鶴岡医師会のHP・医療相談で、医師会の産婦人科担当医が不妊症に悩む女性への相談に対応、支援を実施【鶴岡地区医師会】	
8	茨城	・茨城県不妊専門相談事業 茨城県から茨城県産婦人科医会が委託を受け実施。茨城県3箇所(水戸市、土浦市、筑西市)に相談センターを設置し、隔週日・木曜に実施。医師と助産師、助産師とカウンセラーがそれぞれペアになり相談にのっている。一カプル約一時間。【茨城県産婦人科医会】 ※医師会としての関わりはない。	
11	埼玉	・出産前保健指導の充実に向けて努力している。【埼玉県医師会】	
12	千葉	・不妊相談(保健所事業)【茂原市長生郡医師会】 ・新銚子市母子保健計画へ参画【銚子市医師会】	
13	東京	・親子健康支援事業～プレママ・プレパパコース～ 区施設に産婦人科医・小児科医を派遣、出産前の育児不安を取り除き、妊娠中の生活や新生児の健康管理のポイント等アドバイス【板橋区医師会】	
15	新潟	・各医療機関で専門外来を設けて指導【新潟市医師会】	
14	神奈川	・不妊治療、アドバイス【厚木医師会】 ・特定不妊治療費の助成(公費負担)【相模原市医師会】	・特定不妊治療費の助成拡大、産科医療への参入を計画
17	石川	・小松市一般不妊治療支援事業への協力【小松市医師会】	
16	富山	・富山県下での不妊治療に対する助成金制度あり【射水郡医師会】	
19	山梨	・不妊相談センタールピナス(山梨県福祉保健部健康増進課) ・山梨遺伝相談(山梨県中北保健所) ※医師会の事業としては、行っていない。	
20	長野	・不妊治療助成金【岡谷市医師会】	

23	愛知		・健康づくりに関するアンケート【豊橋市医師会】 ※医師会の絡みはないが、担当理事として豊橋市母子保健推進計画作業部会に出席
26	京都	・カウンセリング機関の整備【亀岡医師会】	
27	大阪	・医師会としての独自取り組み事業はないが、大阪府設置の大阪府不妊対策検討委員会に役員が委員として2名就任。	
28	兵庫	・不妊患者に対する、他医療機関との連携・協力 排卵誘発剤、検査など実施【川西市医師会】 ・不妊・不育治療の充実 会員である産婦人科診療所が、日本産婦人科学会体外受精登録施設であり、体外受精、顕微鏡受精など高度不妊治療を実施 ・カウンセリング機関の整備 会員である産婦人科診療所において、不妊治療患者に対する院内カウンセリングを週3回実施【南あわじ市医師会】	
34	広島	・広島市不妊治療費助成事業【安佐医師会】(管内産婦人科医療機関が協力) ・不妊・不育治療の充実への協力【福山市医師会】	
40	福岡	・福岡県では不妊治療を助成しているが、それに参画し、PR活動をしている【遠賀中間医師会】 ・不妊相談【宗像市保健所】	
46	鹿児島	・事業は行っていないが、県少子化対策懇話会(会長:県知事)や、県次世代育成支援対策協議会に参画し、不妊治療費助成の拡充など提言を行い、県行政へ積極的に働きかけを行っている。	
47	沖縄	・妊産婦健診、癌・腫瘍等の精査・検診、不妊治療、妊婦精査 県立病院の検査設備等の検査、病理検査を利用して不妊治療、妊婦精査にあたる【宮古地区医師会】 ・沖縄県特定不妊支援事業 国の少子化対策の一環。H16年6月より電話相談(月～金)面接相談(週1回)講演会(年1回)を県不妊相談センターで実施(特定不妊療養費支援と連動) 【日本産婦人科医会沖縄県支部】 ※医師会としての絡みはないが医師会員が参画	・医師会病院の現存の婦人科外来は9月末に閉鎖。将来、人材確保等、状況が整えば、産婦人科を再開予定【北部地区医師会】

問2: より安全な妊娠・出産に向けての医療環境の充実を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
1	北海道	・パパママあんしん相談【帯広市医師会】	・H19年4月に北海道医師会母子保健対策推進委員会を設置【北海道医師会】
2	岩手	・妊娠遠隔健診の普及 ・モバイルCTGの活用 ・Web電子母子手帳の活用【岩手県産婦人科医会】 ※医師会の絡みはないが、医師会の役員が個人として係っている	
4	宮城	・産科セミオープンシステム【仙台市医師会】 ・休日当番医制度【石巻市医師会】	
5	秋田	・「秋田県周産期医療の体制構築」に関し、県と協力し推進【秋田県医師会】	
6	山形	・妊婦健診への協力【山形市医師会】 ・庄内産婦人科集談会等勉強会の開催、医療環境の整備・充実 庄内産婦人科医会で、年2回集談会・年3回症例検討会で個別の問題となる妊娠例を検討。また、庄内における、妊娠出産の医療環境の整備・充実についても定期的に討議し、県の産婦人科医会・関係諸機関に働きかけを行う。【鶴岡地区医師会】	
8	茨城	・茨城県・水戸周産期懇話会 年2回、産婦人科、小児科(NICU)、助産師、保健師、看護師等、周産期医療従事者が一同に集まり、研修、情報交換を実施。【茨城県産婦人科医会(水戸市)】 ・周産期コントロール事業 県内を4つのブロックに周産期センターを配置、各1つのコントロールセンターを設置、ブロック内医療機関からの電話母体搬送依頼のコントロール(電話連絡など医師が行っている)をする。ブロック内で対応できない場合、他のブロックコントロールセンターと協議し、搬送先はコントロールセンターが責任を持って探し、医療機関へ連絡。【茨城県】 ※医師会としての関わりはない。	
12	千葉	・妊婦健康講座【浦安市医師会】 ・新銚子市母子保健計画へ参画【銚子市医師会】 ・千葉県周産期・保健協議会、千葉県母子保健運営協議会へ参画【千葉県医師会】	
13	東京	・セミオープンシステム(日医大) 産科診療所にて妊婦健診を行い妊娠9カ月に病院へ紹介するシステム。異常があれば、すぐ入院可能。【文京区医師会】	
14	神奈川	・妊婦検診、分娩施設の紹介【厚木医師会】 ・妊婦健康診査【相模原市医師会】	・産科医療への参入を計画中

15	新潟	<ul style="list-style-type: none"> ・分娩育児手当金の援助 新潟市と協力し、従来2回の補助券公布を4回にし、医療機関受診をしやすく改善【新潟市医師会】 	
16	富山	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児死亡改善対策検討会・講習会(安心できる出産支援事業県の委託事業)【富山県医師会】 ・緊急母体搬送システムとして富山大学附属病院、富山県立中央病院、富山市民病院、厚生連高岡病院が活躍している(富山県産婦人科医会)【射水郡医師会】 ・周産期救急医療ネットワークの充実【高岡市医師会】 ・市としてはマタニティー教室、もうすぐパパママ教室、新米パパママ教室があり、医師会としても全面的に協力をしている【新湊市医師会】 	
17	石川	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦、産婦一般健康診査への協力【小松市医師会】 	
19	山梨	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨県における安全なお産を守る会【山梨県医師会】 ・山梨県周産期懇話会【甲府市医師会】 	
20	長野	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦、乳児一般健康診査 県の事業に協力(妊娠後期検診、乳幼児健診について)【大北医師会】 ・産科問題懇談会 H17年8月に、飯田下伊那地域の産科医療機関の減少に伴う産科医療の危機に関して、地域で課題を解決するために、南信州広域連合・飯田保健所・飯田市、下伊那郡町村会・松川町、飯伊地区包括医療協議会・飯田医師会、飯田市下伊那産婦人科医会、飯伊地区産婦人科医にて組織。飯田市下伊那産婦人科医会から提案された共通カルテにより医療機関の機能分担を行い、現在、順調に推移。【飯田医師会】 	
23	愛知	<ul style="list-style-type: none"> ・パパママ教室【豊川宝飯医師会】 ・無料妊娠健診回数の増加を市に要望【田原市医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・出産、子育てに関するアンケート【豊橋市医師会】 ・豊橋産婦人科の会を開催し、開業医と市民病院とで病診連携の検討 ※医師会の絡みはないが、担当理事として豊橋市母子保健推進計画作業部会に出席
24	三重	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介患者の振り分け 産科を廃した病院に、産婦人科の手術を要する患者さんを紹介するなど、勤務医の先生の負担を減らすため実施【四日市医師会】 ・産科医の中央総合病院の集約化【鈴鹿市医師会】 ・年末年始(12月31日～1月3日)の産婦人科在宅当番制【松阪地区医師会】 ・病診連携 病院における人員の削減、診療所の分娩中止等に対し、地域の医師により二次救急までは地域完結を目指す【紀南医師会】 	
26	京都	<ul style="list-style-type: none"> ・分娩施設における周産期医療スタッフの充実 ・母子感染予防対策の充実【亀岡医師会】 	

問2: より安全な妊娠・出産に向けての医療環境の充実を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
27	大阪	・新生児診療相互援助システム(NMCS) ・産婦人科診療相互援助システム(OGCS) 【大阪府医師会】	
28	兵庫	・産婦人科救急在宅当番医制 夜間、休日、年末年始の産婦人科一次救急の応需体制。【尼崎市医師会】 ・ハイリスク妊婦の他医療機関との連携・協力 ハイリスクの程度に応じて適切な医療機関への紹介その後生じたマイナートラブルに対する検査、加療の実施【川西市医師会】 ・母子感染予防対策 産科診療所では、院内感染対策委員会を毎月1回開催【南あわじ市医師会】	
34	広島	・マツダ病院、県病院、鉄道病院、呉共済病院、呉医療センターとの病診連携【安芸地区医師会】	
40	福岡	・北九州周産期母子医療協議会…周産期医療の北九州地域におけるシステムに向けて ・周産期医療講習会…第一線産科医の新生児蘇生術のスキルアップを目指したきめの細かい講習会 ・産婦人科専門医レジデント研修生の募集【北九州市医師会】 ・妊婦健診の受けやすい環境づくり 現在、妊婦健診については年2回の無料健診を実施しているが、H20年度以降無料の回数を増やす方向にある【遠賀中間医師会】 ・妊婦健診及びB型肝炎母子感染防止事業 ・福岡市医師会出産前後子育て支援パイロット事業【福岡市医師会】 ・産婦人科休日在宅当番医制度 福岡徳洲会病院とのクリニカルパス【筑紫医師会】 ・在宅当番医制事業…(日曜、祭日、盆(8月14、15日)、年末年始(12月31日～1月3日))【田川医師会】	
41	佐賀	・周産期医療ネットワークの構築 佐賀県内の周産期医療は、中部、北部、南部・西部、東部の4医療圏に分けられており、二次、三次医療機関相互の役割分担がうまく機能していることが特徴。今後、以下の対策を早急に検討・構築する必要があることから、県行政に早急な対応を要請。 ・中核的病院等への産科・小児科医師確保のための財政支援 ・自治医大卒業医師の活用 ・医師修学資金貸与事業の活用 ・助産師の養成 ・女性医師の勤務環境の整備(24時間保育体制の整備など) ・総合周産期母子医療センターの設置【佐賀県医師会】	
42	長崎	・医師会立看護学校への助産師養成コースの併設(H20年度より予定)【長崎市医師会】 ・国立病院機構長崎医療センターと複数の医師会員の間で契約を交わし、産科セミオープンシステムを実施【諫早市医師会・大村市医師会 共同】	

45	宮 崎	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期症例検討会…県医師会分科会である産婦人科医会が実施 ・成人T細胞白血病(ATL)母子感染防止対策事業 ・健やか妊娠推進事業…県からの委託事業 【宮崎県医師会】	
46	鹿 児 島	<ul style="list-style-type: none"> ・ATL対策推進事業 H19年度、県からの委託で講演会・HTLV-1抗体検査受診率向上のためポスター等作成予定。公費の妊婦健診検査項目にも盛り込まれる予定。 【鹿児島県医師会】	
47	沖 縄	<ul style="list-style-type: none"> ・無過失補償制度の確立、離島での出産医療(県立病院との連携で実施) ・沖縄県周産期ネットワーク 県は出産前後から乳児期にかけて死亡率が全国に比して高いことから、改善のため、小児科医会・産婦人科医会・学会・那覇市医師会が各々協議し、空床情報ネットワーク(母体搬送、新生児搬送の円滑な推進)を確立。搬送症例検討会にて問題点を検討し、安心安全な分娩環境作りに努力 【日本産婦人科医会沖縄県支部、沖縄県小児科医会、那覇市医師会】	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会病院の現存の婦人科外来、小児科外来は9月末に閉鎖。 将来、人材確保等状況が整えば、産婦人科、小児科を再開設予定 【北部地区医師会】

問3:満足できる妊娠・出産に関する社会環境の整備を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
1	北海道		・H19年4月に北海道医師会母子保健対策推進委員会を設置【北海道医師会】
5	秋田	・「妊婦健康診査に対する補助事業」を県と協力し推進 ・「性教育講座」【秋田県医師会】	
6	山形	・産褥婦、家族に対する支援・援助活動 鶴岡地区産婦人科医会は鶴岡市健康福祉部健康課と協力、産褥婦の育児不安に係る連絡事業。医療機関に入院中・退院後間もない産褥婦で在宅生活をするにあたり、強い育児不安があり訪問指導等の支援が必要とおもわれるもの・状況によっては新生児等に対する虐待が生じる可能性のあるものに対し、医療機関は独自に作成された連絡票に記入して、市(健康課)に速やかに連絡する。市は関係機関と連携し、産褥婦・家族に対する支援・援助活動を継続的に行う。【鶴岡地区医師会】 ・医療機関ネットワーク(地域)の形成【米沢市医師会】	
8	茨城		・分娩医療機関・健診機関リスト公開 ・茨城県産婦人科医会 HPに掲載 ・里帰りなど、分娩医療機関を探している妊婦への情報提供
11	埼玉	・母体搬送実態調査 毎年消防隊による救急活動を中心に県下の母体搬送実態と県外への母体搬送流出状態の実態調査をH8年度から実施。県外依存からの一刻の早い脱却・県独自の周産期体制の構築を県に働きかけている【埼玉県医師会】	
12	千葉	・新銚子市母子保健計画へ参画【銚子市医師会】 ・千葉県周産期・保健協議会、千葉県母子保健運営協議会へ参画【千葉県医師会】	・松戸市立病院に周産期センターを開設するとともに市民の出産は、一部を除き市立病院内の出産センターで取り扱う【松戸市医師会】
13	東京	・プレネイタルビジット【文京区医師会】	・子育てスタート支援事業 若年の親や精神的に不安な方、望まない妊娠による出産等で養育が困難と思われる方を対象にした支援事業。【多摩市医師会】
14	神奈川	・出産育児一時金受領委任払い(分娩前払い)【相模原市医師会】	・産科医療への参入を計画中
16	富山	・緊急母胎搬送システムとして富山大学附属病院、富山県立中央病院、富山市民病院、厚生連高岡病院が活躍している(富山県産婦人科医会)【射水郡医師会】	・問2と表裏一体と考えるので一層の充実を求めたい【新湊市医師会】
23	愛知		・妊婦教育と母乳推進に関するアンケート【豊橋市医師会】 ※医師会の絡みはないが、担当理事として豊橋市母子保健推進計画作業部会に出席

24	三重	<ul style="list-style-type: none"> ・みえ出産前後からの親子支援事業【三重県医師会】 ・マイ保育園事業 妊婦さんが地域の幼稚園・保育園で実際に乳幼児に接し子どもたちの行動や保育に参加してもらい園の先生方と直接話し合う機会を提供【亀山医師会】 ・産婦人科医・小児科医地域連携事業 ・出産前小児保健指導(プレネイタル・ビジット)モデル事業【四日市医師会】 	
27	大阪	<ul style="list-style-type: none"> ・松原市地域プレネイタルビジット事業推進強化事業【松原市医師会】 大阪市、八尾市、羽曳野市においても実施中 	
28	兵庫	<ul style="list-style-type: none"> ・マタニティマーク普及啓発事業 マタニティマークキーホルダー、シールを妊婦に配布。ポスター、広報等によりマークの周知を図る。 【赤穂市医師会】 	
34	広島	<ul style="list-style-type: none"> ・マタニティ講座【東広島地区医師会】(市保健センター主催) ・エンジェルプロジェクト【尾道市医師会】 ・すこやか育児サポート事業【福山市医師会】 	
40	福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・産科連携体制 市内のお産の出来る医療機関、初診、妊婦健診を行う医療機関をHPで紹介【北九州市医師会】 ・妊娠、出産の支援としてカンガルー教室(新米パパ教室、マタニティーライフ)等、行政での事業があり、アドバイスや相談を実施 ・病後児保育をH20年度、医師会病院に設置して実施予定【遠賀中間医師会】 	
42	長崎		・父母教室【諫早市医師会】
46	鹿児島	<ul style="list-style-type: none"> ・事業は行っていないが、県少子化対策懇話会(会長:県知事)や、県次世代育成支援対策協議会に参画し、母子保健事業(公費による妊婦健診の回数など)の市町村格差がないよう提言を行い、県行政へ積極的に働きかけを行っている。 	
47	沖縄	<ul style="list-style-type: none"> ・出産一時金増額の実現、若年妊婦と就労妊婦への支援、行政との連携で妊産婦の出産前後フォロー、ふれあい広場等を利用した精神支援 ・沖縄県立看護大学助産別科新設要請 県立看護大学ではカリキュラムの関係上助産師資格取得者が少ない(科目選択制により可能である)上に県内に留まる者が少ないため、同大学に1年コースの助産別科(専門学校を卒業した看護師資格者も入学可能なため)の設置を要望。【日本産婦人科医会沖縄県支部】 <p>※医師会としての絡みはないが医師会員が参画</p>	

問4:子どもが育ちやすい医療環境の充実を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
1	北海道	・小児救急医療体制の整備【旭川市医師会】	・H19年4月に北海道医師会母子保健対策推進委員会を設置【北海道医師会】
2	青森	・八戸市休日夜間急病診療所への小児科医全日出勤【八戸市医師会】	
3	岩手	・女性医師就業支援における育児支援 ・小児救急医療電話相談事業 ・胆道閉鎖症マス・スクリーニング推進事業【岩手県医師会】	
4	宮城	・自治体実施している国民健康保険乳幼児医療費助成の推進【宮城県塩釜医師会】 ・仙南地域医療対策委員会との共同事業として、予防接種医師研修事業を実施【柴田郡医師会】 ・石巻地区所に夜間診療対策委員会【石巻市医師会】 ・石巻夜間救急センター小児科への会員医師派遣【石巻市医師会・桃生郡医師会合同】 ・宮城県広域化予防接種事業 予防接種の機会拡大を図り、県内市町村における予防接種の相互乗り入れ。 ・宮城県夜間休日安心コール事業 県からの委託により、小児に係る初期救急医療体制の一層の充実を図る【宮城県医師会】	
5	秋田	・「小児救急医療電話相談事業」 県と秋田市医師会、秋田市小児科医会と協力し推進。 呼称「秋田県こども救急電話相談室」【秋田県医師会】 ・秋田市立夜間休日応急診療所 ・秋田県こども救急電話相談室【秋田市医師会】 ・「出産前小児保健指導」・地域連携小児夜間休日診療所 ・病児病後児保育【大曲仙北医師会】 ・「小児輪番制」・「休日応急診療所への小児科医派遣(第2.4日曜日)【由利本荘医師会】	
6	山形	・小児救急医療充実の推進 ・各種予防接種、各種検診の実施協力【山形市医師会】 ・両親学級への小児科医師の派遣(年3回)【寒河江市西村山郡医師会】 ・各種予防接種、健診事業【新庄市最上郡医師会】 ・予防接種事業、健康診査事業、救急医療対策事業 各種乳幼児健診や予防接種に積極的に関わる。また、医師会長は、教育委員会委員長代行の任を任されている。小児救急医療に関しては、基幹病院(荘内病院)と協力。休日夜間診療所の運営にも従事【鶴岡地区医師会】 ・休日急病診療所へ小児科を開設【米沢市医師会】	
8	茨城	・小児夜間休日診療 H14年5月1日より、平日19時半～22時半に水戸市医師会、水戸市薬剤師会協会のもと、水戸市保健センター内で小児科医が診療をしている。【水戸市医師会】	

9	栃木	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児保健講習会【栃木県医師会】 ・ここ・ほっと子育てサロン【宇都宮市医師会】 ・佐野休日夜間診療所…小児科医が交代で休日昼間小児科一次救急を行っている【佐野市医師会】 ・夜間小児(1次)救急…足利市医師会会員が交代で診療を実施 ・学術講演会…市医師会事業における担当医師の増員のため。スキルアップを図るため。【足利市医師会】 ・塩谷地区休日夜間こども診療室【塩谷郡市医師会】 ・夜間小児診療 行政と連携し、芳賀郡市医師会が急患センターとして立ち上げた【芳賀郡市医師会】 	
11	埼玉	<ul style="list-style-type: none"> ・小児救急医療研修会 県の小児一次救急医療の質向上・量的充実と二次救急輪番病院等の負担軽減を目的とし、小児科を標榜する県医師会会員・会員医療機関医師を対象に実施。【埼玉県医師会】 ・乳幼児医療費・年収制限の撤廃への働きかけ ・小児救急医療体制への医師の会社 ・プレネイタルビジット ・麻しん患者全数報告事業から接種勧奨事業【岩槻医師会】 	
12	千葉	<ul style="list-style-type: none"> ・印旛市郡小児初期急病診療所 ・成田市夜間急病診療所【印旛市郡医師会】 ・夜間小児急病センター【松戸市医師会】 ・小児救急医療体制の整備 ・乳幼児健診の充実 ・予防接種の充実と接種率の向上【浦安市医師会】 ・新銚子市母子保健計画へ参画【銚子市医師会】 ・千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業 ・こども急病電話相談事業 ・乳幼児保健検討委員会設置【千葉県医師会】 	
13	東京	<ul style="list-style-type: none"> ・小児の医療費無料化 ・平日夜間子どもクリニック【江東区医師会】 ・台東区平日準夜間休日子供クリニック(初期救急外来)【浅草医師会】 ・乳幼児医療費助成制度 現在は6歳までだがH19年10月より、15歳まで助成される予定【文京区医師会】 	
14	神奈川	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児一時あずかり事業支援(病児保育、病後児保育事業への協力)【横浜市医師会】 ・24時間体制小児救急医療制度 ・1歳児健康診査【相模原市医師会】 	
15	新潟	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市中越こども急患センター 平日準夜帯(19~22時)の対応として開設。当番診療は小児科医のみ。【長岡市医師会】 ・新発田地区救急診療所 小児救急医療体制の整備に関連し、休日の救急診療所を開設。平日夜間(19:30~22:30)も開設。【新発田北蒲原医師会】 	

問4:子どもが育ちやすい医療環境の充実を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
16	富山	<ul style="list-style-type: none"> ・小児・周産期医療部会【富山県医師会】 ・小学生3年まで医療費無料の制度への協力【射水医師会】 ・県下に先駆けて10歳までの医療の補助を実施【新湊医師会】 ・急患医療センター…平日夜間、休日(日中・夜間)医師会員出向 ・予防接種推進事業【高岡市医師会】 	
17	石川	<ul style="list-style-type: none"> ・小松市産後ママの育児不安解消支援事業への協力 ・南加賀急病センターの運営(小児科・内科の夜間、休日診療所)・個別予防接種への協力 ・乳児一般健診への協力・1歳6ヶ月児、3歳児健康診査への協力【小松市医師会】 ・乳幼児健診、予防接種【白山ののいち医師会】 ・はしか0作戦 予防接種週間羽咋市「広報はくい」HPでの広報啓発【羽咋郡市医師会】 ・小児科休日当番医制の実施・加賀市医師会休日診療【加賀市医師会】 	
19	山梨	<ul style="list-style-type: none"> ・小児救急センター・病児・病後児保育事業(自園型)【甲府市医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児救急センター【富士吉田医師会】
20	長野	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康の記録(予防接種手帳)」の作成 各種予防接種や各種検診が母子手帳年齢以降は記録が散逸することのないよう、飯田医師会の提案により、H19年度から飯伊地区包括医療協議会が「健康の記録(予防接種手帳)」を作成し、新生児・保育所幼稚園年少入園者・小学校1年生に配布。健康増進法による健康の記録とも連動したものとして作成【飯田医師会】 ・小児夜間急病センター…諏訪地区小児夜間急病センターの運営を受託(岡谷市医師会・諏訪市医師会と共同)【諏訪郡医師会】 ・小児初期救急センター…H16年4月17日、長野病院敷地内に開設(夜間救急診療実施)。上田市医師会・小県医師会・信大医学部附属病院医師が交代で担当(上田市・旧真田町・旧丸子町が共同運営)【上田市医師会】 	
21	岐阜		<ul style="list-style-type: none"> ・中濃厚生病院時間外夜間診療を開医がお手伝いする(有志のみ)当初は、木曜20時～【武儀医師会】
22	静岡	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児保健会【沼津・小笠原医師会】 	
23	愛知	<ul style="list-style-type: none"> ・休日急病診療所における小児科専門医による診療 ・子どもあんしん電話相談事業冊子の作成【名古屋市医師会】 ・小牧市休日急病診療所【小牧市医師会】 ・豊橋市休日夜間急病診療所での小児科診療【豊橋市医師会】 ・予防接種実施・乳幼児健診実施【新城医師会】 ・平日夜間当直を実施【田原市医師会】 	

24	三重	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保育園健康推進連絡協議会 ・応急診療所における小児診療学習 ・ペリネイタル事業【鈴鹿市医師会】 ・病診連携事業 ・母親学級【紀南医師会】 ・育児支援センター(医療機関併設型) ・小児病後児デイケアセンター事業 ・保育所・幼稚園健診事業(成育記録表使用)【名賀医師会】 	
25	滋賀	<ul style="list-style-type: none"> ・伝染性疾患に対する予防接種に協力【甲賀湖南医師会】 	
26	京都	<ul style="list-style-type: none"> ・京都市乳幼児健康支援サービス事業への協力 ・京都市要指導乳幼児登録事業 ・京都市保育所入所児童の耳鼻科。眼科検診事業【京都府医師会】 ・伏見医師会小児科研究会【伏見医師会】 ・休日応急診療所 ・予防接種受診勧奨【乙訓医師会】 ・休日急病診療所【宇治久世医師会】 ・小児救急医療体制の整備【相楽医師会】 ・乳幼児医療費助成の拡充 ・小児救急医療体制の整備 ・予防接種の充実と接種率の向上 ・子どもに関する難治性疾患の治療及び先端医療の充実【亀岡医師会】 	
27	大阪	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の実施する子育て支援事業に医師会として協力 	
28	兵庫	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸市医師会小児科休日急病診療所 休日及び年末年始の9～17時、市内小児科標榜の医師会員が交代で勤務【神戸市医師会】 ・出産前小児保健指導事業…産科医と小児科が協力し、育児に対する不安をとりのぞく医療相談・育児指導を実施【西宮市医師会・加古川市加古郡医師会・姫路市医師会】 ・阪神南圏域小児2次救急打合せ会 兵庫県作成の小児2次救急病院輪番の空白時間(土曜:昼～夕方、休日:朝～夕方)を解消するため阪神南3市(西宮、芦屋、尼崎)の各医師会、病院小児科医が集まり、空白時間にボランティアで待機する病院を協議決定【西宮市医師会】 ・休日・夜間急病センターの充実 本会地域医療委員会が主となって医療システムを構築。【姫路市医師会】 ・西播磨病院群輪番制運営委託事業 夜間・休日等の小児科に係る第2次救急体制を実施【赤穂市医師会】 ・小児救急 日祝日に地域中核病院である県立病院に出向し小児救急外来にて診療を実施 ・個別予防接種 すべての予防接種(BCG 含)を個別に実施し、受診率の向上に努めている。年1回行政との懇談会を実施し接種率の確認とともに、未接種者に積極勧奨する行政に働きかけている。 ・乳幼児健診 すべての乳幼児健診に、心理士の配置をするよう毎年提案し、現在10ヶ月・1歳6ヶ月・3歳児健診に心理士の配置が実現。また健診後に個別カンファレンスを保健師、心理士と実施【南あわじ市医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域小児救急医療体制の整備 伊丹市、宝塚市、川西市の3市医師会が協力し、H20年度4月より(仮称)阪神北小児急病センターを稼働予定【川西市医師会】

問4:子どもが育ちやすい医療環境の充実を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
30	和歌山	<ul style="list-style-type: none"> ・麻しん・風しん全数把握事業 ・予防接種広域化事業 県下30市町村全て参加【和歌山県医師会】 ・小児夜間救急ミニ輪番制…平日夜9時まで10の医療機関が曜日を決め、消防からの紹介患者に対応。2次救急は2公立病院が対応【伊都医師会】 	
31	鳥取	<ul style="list-style-type: none"> ・小児救急医師確保等調整事業【鳥取県医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種の全県広域化【鳥取県医師会】
32	島根	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科休日在宅当番医制【益田医師会】 	
34	広島	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリオ投与、BCG接種、乳幼児健診への小児科医派遣 ・広島市立舟入病院小児科準夜診療への小児科医派遣【安佐医師会】 ・受託事業(乳幼児健診、3歳児健診、定期予防接種) ・呉市医師会休日急患センター ・小児夜間救急センター【呉市医師会】 ・福山夜間小児診療所 ・小児救急医療電話相談事業【福山市医師会】 ・小児科専門医とのネットワークづくり【豊田郡医師会】 ・小児初期救急在宅輪番制 ・休日夜間救急診療所、乳幼児健診への出向【東広島地区医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・内科小児科の準夜時間外診療所の設立【安佐医師会】 ・産科と地域保健の連携による育児支援体制検討事業【安芸地区医師会】
35	山口	<ul style="list-style-type: none"> ・小児救急医療啓発事業【山口県医師会】 	
37	香川	<ul style="list-style-type: none"> ・高松市夜間急病診療所【高松市医師会】 	
38	愛媛	<ul style="list-style-type: none"> ・プレネイタルビジット【松山市医師会】 	
40	福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・口唇口蓋裂児の出産前診断から始まる家族への支援【北九州市医師会(産婦人科医会)】 ・ペリネイタルビジットの実施 ・乳幼児医療制度の拡充の働きかけ【北九州市医師会(小倉小児科・産婦人科医会)】 ・福岡県下で実施されている予防接種の広域化(BCG、DPT、MR、日脳など)により予防接種の普及と推進 ・乳幼児の医療助成制度の実施(5歳未満) ・一市四町の情報支援の場として健康対策協議会を月1回実施【遠賀中間医師会】 ・行橋京都休日、夜間急患センター…医師会より小児科診療医を派遣(小児科専門医5名、小児科標榜する内科8名の計13名で月平均2日出務)。診療時間は平日19時半～23時、日曜18～23時。出務医を中心とした症例検討会(月1回『こども懇話会』として開催)。医師会に運営委員会設置(9名)し、運営上の問題点を検討(月1回)【京都医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCGの個別接種をH20年4月より開始【宗像医師会】

40	福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市医師会方式乳幼児健診事業【福岡市医師会】 ・筑紫地区小児救急医療事業【筑紫医師会】 ・宗像急患センター・ペリネイタルビジット【宗像医師会】 ・田川市0才期教育親子教室 ・予防接種個別接種…従来の集団接種を市町村自治体と再三交渉の結果田川郡市1市8町村と成立段階になる。【田川医師会】 ・地域連携ささえあい小児医療…小児科専門医(17名)開業医と飯塚病院小児科と組んで平日午後7～10時迄小児医療実施【田川、飯塚、直方医師会】 ・小児診療当番医による平日、休祭日の夜間診療【大牟田医師会】 ・八女筑後地区小児救急医療対策連絡会議【八女筑後医師会】 	
41	佐賀		<ul style="list-style-type: none"> ・定期の予防接種広域化 現在、インフルエンザ予防接種のみ広域化を実施している。H20年4月より乳幼児の予防接種広域化へ向け調整を実施。 ・入院医療費の助成 県において、H19年度より、入院医療費の助成(半額)を、小学校入学前まで拡大【佐賀県医師会】
42	長崎	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎市医師会急患センター(開業医・勤務医・大学が協力し、準夜・深夜帯をカバー)【長崎市医師会】 ・大村市こども夜間初期診療センター【大村市医師会】 ・すこやか21健康運動(諫早市と協力)・予防接種の充実【諫早市医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て利用券(ペリネイタルビジットや育児相談もかねて使用できるようにする)【長崎市医師会】 ・小児初期(平日準夜帯)救急医療体制の整備【佐世保市医師会】
43	熊本	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県予防接種広域化事業【熊本県医師会】 	
44	大分	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県こども電話相談事業【大分県医師会・大分県小児科医会】 ・育児等保健指導(ペリネイタルビジット)事業【大分県医師会・大分県産婦人科医会・大分県小児科医会】 	
46	鹿児島	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種全県的相互乗り入れ・就学時健診定期予防接種アンケート【鹿児島県医師会・17郡市医師会】 ・「こどもの救急(日本小児科学会作成)」共同購入(購入した医療機関から受診者などへ配布)【鹿児島県医師会】 ・小児救急電話相談事業(県からの委託)【鹿児島県医師会・鹿児島市医師会】 ・夜間小児救急医療体制に関する病診・診診連携、小児科医派遣【鹿児島市医師会・鹿屋市医師会・川内市医師会】 	
47	沖縄	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児医療費助成制度の拡充・小児救急医療体制の整備・乳幼児健診 ・ペリネイタルビジット(周産期小児保健指導)・予防接種の充実と接種率の向上 ・沖縄県はしか「0」プロジェクト【沖縄県医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペリネイタルビジット【沖縄県小児科医会】

問5:子育てに関する社会環境の整備を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
1	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・「旭川市子ども女性支援ネットワーク」への参加 (「子どもへの虐待対応マニュアル」の作成)【旭川市医師会】 ・パパママあんしん相談【帯広市医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・H19年4月に北海道医師会母子保健対策推進委員会を設置【北海道医師会】
2	青森	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市医師会主催による乳幼児保健講習会【八戸市医師会】 	
4	宮城	<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科の1医療機関で単独保育所有【石巻市医師会】 ・仙南地域医療対策委員会との共同事業として、障害児の発達障害の研修事業などを実施【柴田郡医師会】 	
5	秋田	<ul style="list-style-type: none"> ・「全県予防接種率調査」(1歳6か月時の各種予防接種率、第2期MRワクチン接種率) ・麻しん、MRワクチンの広域化(全県での接種可能体制)【秋田県医師会】 ・「育児支援アンケート調査」【秋田市医師会】 ・プレネイタルビジット【大曲北医師会】 	
6	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園への協力・病後児保育への協力【山形市医師会】 ・医、学、官連携による幼児、児童の生活リズムづくりモデル事業 子どもの睡眠不足や生活リズムの乱れなどが発達障害とかかわっている部分もあると思われる。時間に追いたてられることによる欠食の問題もあり、課題や今後の対応策を検討・社会環境の整備を図っていきたい。【天童市東村山郡医師会】 ・禁煙教育等【新庄市最上郡医師会】 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかな子どもを育てるネットワーク推進事業 「すこやかな子どもを育てるネットワーク推進委員会」に医師会から2名参加。学区ごとにある育児サークルのバックアップなど、子育て中の保護者の支援を実施。 「鶴岡市母子保健計画策定委員会」に医師会から3名参加【鶴岡地区医師会】 	
9	栃木	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児保健講習会【栃木県医師会】 ・子ども発達センター・ファミリーサポートセンター・一時預かり保育 子どもたちのあそび広場・子育てサロン【宇都宮市医師会】 ・すくすく講演会…出産を控えた父母に対し、小児科医が子育ての心構えや病気、予防接種に関し講演を行っている。 ・乳児健診、二次健診(こにこに発達相談)健診への協力とその後の経過観察。療育への紹介、経過観察など【佐野市医師会】 ・病後児保育所、開設時における医師会としての協力【足利市医師会】 ・健やか親子の集い 行政の協力により子育て中の親と妊婦に対して健康講話と相談会【芳賀郡市医師会】 	

11	埼玉	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談窓口 県内各所・各施設で多数の子育て事業が行われているが、医療と連携したものは少ないため、埼玉県医師会独自にH17年7月から開設。【埼玉県医師会】 ・病児保育施設への補助金拡大【岩槻医師会】 	
12	千葉	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育の充実 ・保育所、幼稚園への協力 ・子育てサークルや子育てサロン等との連携と支援 ・虐待の予防と早期発見【浦安市医師会】 ・要保護児童対策協議会への参画、その他公衆衛生や学校保健の取り組み【鎌ヶ谷市医師会】 ・新銚子市母子保健計画へ参画【銚子市医師会】 ・乳幼児保健検討委員会を設置し、県へ保育所充実等の要望 ・千葉県次世代育成支援対策を推進する千葉県民会議、千葉県児童虐待防止連絡会議、千葉県児童環境づくり推進協議会への参画【千葉県医師会】 	・松戸市の子育て支援事業への協力【松戸市医師会】
13	東京	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育…全会員が、医師会員開設の病児保育室に対して患者を紹介(市内3ヶ所)。 ・緊急子育てサポート事業…厚労省・東京都社会福祉協議会からの受託でNPOがサポーターによる一時預り・委託事業。医療的サポートを医師会は実施。【町田市医師会】 ・休日医療相談事業及び休日急病テレホンセンター事業…医療に関する相談や子育ての相談に応じたり、休日診療担当医療機関の紹介等を行う。【世田谷区医師会】 ・区民講座、区医学会でシンポジウム、こうとう親子センター…小児の疾患、予防接種、虐待について【江東区医師会】 ・子育て支援セミナー…保健婦、小児科医が指導。毎月2回開催。【文京区医師会】 	
14	神奈川	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市内保育園児の予防接種実態調査【横浜市医師会】 ・思春期保健セミナー【相模原市医師会】 	
15	新潟	<ul style="list-style-type: none"> ・プレネイタルビジット H12年に新潟県内で開業産婦人科医に、H13年に新潟市小児科医会会員へ意識調査アンケートを実施。また、新潟市内の産婦人科受診者・保育園の保護者にもアンケート調査を実施。【新潟市医師会】 ・長岡市乳幼児健康支援デイサービス事業(病後児保育) 共働き世帯等支援のため、H14年度開始。現在、市内5ヶ所の施設で実施。【長岡市医師会】 	
16	富山	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生3年まで医療費無料の制度を実施。医師会はそれに協力【射水医師会】 ・乳幼児健診事業【高岡市医師会】 ・新生児訪問、3ヶ月、1歳6ヶ月、3歳児健康診査、ぴよぴよ相談(8ヶ月まで)、にこにこ相談(9ヶ月以降)を実施 ・子どもの幸せと健やかな成長のために射水市子ども条例が制定され(H19. 6. 20～)、これを全面的に支援【新湊市医師会】 	

問5:子育てに関する社会環境の整備を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
17	石川	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成支援対策協議会委員会【河北郡市医師会】 ・みんなで一緒にタバコを考える講演会 子どもスクスクみんなイキイキ～禁煙で広がるのどの健康～【羽咋郡市医師会】 	
19	山梨	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨子育て支援プランの推進【山梨県医師会】 ・男女共同参画センター(山梨県助産師会) 	
20	長野	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育…茅野市において会員が病児保育を実施【諏訪郡医師会】 ・こどもとメディア検討委員会 過度のメディア接触に警鐘を鳴らすべく、市民を対象としたシンポジウム・講演会等を定期的開催【長野市医師会】 ・病児保育施設…上田病院が市から受託しH19年5月開設【上田市医師会】 	
23	愛知	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもあんしん電話相談事業・少子化対策委員会の設置 ・児童虐待に関する講演会の冊子の作成【名古屋市医師会】 ・輪番夜間当番医休日診療所開設【新城医師会】 ・中学生以下の医療費無料化について市と協議中【田原市医師会】 	
24	三重	<ul style="list-style-type: none"> ・園医の手引き、成育記録表の作成【三重県医師会】 ・虐待防止検討委員会【四日市医師会】 ・サッカー少年団新人大会、ジュニアバレーボール大会協賛事業【鈴鹿市医師会】 ・子ども総合支援室の事業援助【亀山医師会】 ・乳幼児保健協議会【久居一志地区医師会】 ・地域子育て支援拠点事業【伊賀医師会】 ・保育所、幼稚園における健診システム(成育記録表を用いた軽度発達障害児等の早期発見、指導に用いるためのシステム(モデル事業の段階)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児聴覚スクリーニング推進事業 ・小児育成センター構想(未定)【名賀医師会】
26	京都	<ul style="list-style-type: none"> ・京都市屋間里親嘱託医の推薦・京都市こども保健医療相談 ・事故防止センターにおける相談事業・乳幼児健康相談事業【京都府医師会】 ・虐待予防委員会などへの出席、今後病児保育への取組【乙訓医師会】 ・子育てに専念している親への支援【相楽医師会】 ・保育所、幼稚園への協力・子育てサークル子育てサロンとの連携・虐待予防早期発見 ・子どもの権利に関する条約に基づく環境整備【亀岡医師会】 	
27	大阪	行政の実施する子育て支援事業に医師会として協力	

28	兵庫	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援一時預かり事業…行政と連携し小児科医療機関を母体とする施設が病児病後児保育事業を実施【神戸市医師会】 ・ひょうご病児等緊急サポートネット事業…兵庫県看護協会が実施する研修会等への講師派遣、ネットワーク会議への出席 ・病児保育への取り組み…就学前の乳幼児を対象に市内数箇所の医療機関にて実施。行政に対象年齢の拡大を要望【尼崎市医師会】 ・ひょうご病児等緊急サポートネットへの協力…ひょうご病児等緊急サポートネット(カンガルーネット)がモデル事業として、姫路市内で開催するに際し、サポートの研修時の講演、かかりつけ医として、実稼動上関係機関と綿密な連携を図っている【姫路市医師会】 ・要保護児童対策地域協議会 虐待時の早期発見と保護【美方郡医師会】 	
32	島根	<ul style="list-style-type: none"> ・益田市医師会教員保育所【益田市医師会】 	
34	広島	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジェルプロジェクト【尾道医師会】 ・子育てセミナー・学校における防煙教室・病児保育の充実への協力【福山市医師会】 ・院内保育所【呉市医師会】 ・育児支援連携事業・禁煙支援対策事業【東広島地区医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・内科小児科の準夜時間外診療所設立【安佐医師会】
35	山口	<ul style="list-style-type: none"> ・小児救急医療電話相談事業【山口県医師会】 ・子ども何でもネットワーク【下関市医師会】 	
36	徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・はぐくみ支援【徳島県医師会】 	
37	香川	<ul style="list-style-type: none"> ・高松市民健康まつり【高松市医師会、高松市、香川県小児科医と共催】 	
38	愛媛	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー対策【愛媛県医師会】 	
40	福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・小児救急医療体制【北九州市医師会】 ・乳幼児健診への協力・遠賀中間地域虐待防止連絡会議の運営(協力) ・児童少年相談センターへの協力・病後児保育の実施【遠賀中間医師会】 ・福岡市乳幼児健康支援一時預かり事業【福岡市医師会】 ・筑紫こども虐待防止連絡協議会【筑紫医師会】 ・乳幼児健康支援一時預かり事業【糸島医師会】 ・病児保育施設(すくすくクラブ)・拡大園通会(園長・保育士と園医会の合同研修会)【宗像医師会】 ・家庭児童相談室【田川医師会保健環境事務所】 ・児童虐待予防対策委員会【田川医師会、児童相談所】 ・夜間の小児救急電話相談開始【田川、飯塚、直方医師会】 ・乳幼児保健会による講演会、研修会の実施【浮羽医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・病後児保育の更なる充実【筑紫医師会】
41	佐賀	<ul style="list-style-type: none"> ・病後児保育施設の設置 <p>現在、中部圏域(2箇所)、東部圏域(1箇所)、北部圏域(1箇所)、南部圏域(1箇所)に病後児保育施設の設置をしている。佐賀県では、全圏域に1箇所設置を目標としており、現在設置していない西部圏域への病後児保育施設の設置を目指している。【佐賀県医師会】</p>	

問5:子育てに関する社会環境の整備を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
42	長崎	<ul style="list-style-type: none"> ・病(後)児保育の充実(市内4ヵ所:小児科医院内併設)【佐世保市医師会】 ・大村地区子育て支援セミナーの運営支援【大村市医師会】 ・諫早市こども準夜診療センター(365日開設、20～23時診療)【諫早市医師会】 	
43	熊本	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県小児救急電話相談事業【熊本県医師会】 	
46	鹿児島	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健シンポジウム・講演会～みんなで一緒に子育て支援～ ・子育てイベントへの相談医派遣 ・児童虐待状況の情報提供(県医FAXニュースで4半期ごと)【鹿児島県医師会】 ・救急医療市民セミナー、市民フォーラム (今年度は、小児救急の問題に市民とともに検討・協議を実施)【鹿屋市医師会】 	
47	沖縄	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育の充実 ・保育所・幼稚園への協力 (健診、健康教育等の実施。保育所の園医配置。北部地区医師会立病院に保育所を併設、運営) ・子育てサークルや子育てサロン等との連携と支援 ・虐待の予防と早期発見 ・小児科医と行政(市役所児童課)の連携 ・子育て支援員への勉強会の講師 ・健やか親子おきなわ2010 ・思春期講演会(日本産婦人科医会沖縄県支部) 夏休みの時期に思春期の子ども達及び保護者等に対し講演を行う。※医師会としての絡みはないが 医師会員が参画 	

問6:学校保健の充実を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
1	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・函館市学校保健研究会【函館市医師会】 ・未成年者喫煙防止講習会(H19年度より休止中)【北海道医師会】 	
2	青森	<ul style="list-style-type: none"> ・青森市学校保健会【青森市医師会】 ・弘前市学校保健会【弘前市医師会】 ・いのちをはぐくむ教育アドバイザー事業【八戸市医師会】 ・上北地方学校保健会【上十三医師会】 	
4	宮城	<ul style="list-style-type: none"> ・登米市学校保健会の支援、研修会の開催【登米市医師会】 ・管内自治体の小学校の内科医に小児科医を派遣【宮城県塩釜医師会】 ・石巻地区学校保健会【石巻市医師会】 ・学校保健会に対する補助事業【遠田郡医師会】 	
5	秋田	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域保健連携推進事業 (生活習慣病調査、メディアの影響調査、すこやか事業(県と協力し推進)、薬物乱用防止研修会、いじめ問題研修会、学校精神保健研修会) ・「中学校及び高等学校に対する性教育講座講師派遣事業」を県教育庁と協力し推進【秋田県医師会】 ・学校保健協議会の開催、学校検診結果に伴い、養護教諭に対し専門医からの指導アドバイスや小児・児童関係への講演を実施【由利本荘医師会】 ・学校保健講演会【秋田市医師会】 ・「健康づくりサマーキャンプ」【大曲北医師会】 	
6	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医の研修会開催・学校保健関係者との連携協調・健康教育講座への協力【山形市医師会】 ・禁煙防煙推進活動【寒河江市西村山郡医師会】 ・禁煙推進教育(学校での禁煙・防煙講義)【上山市医師会】 ・学校医の活動【北村山地区医師会】 ・学校医の活動(学校保健委員会に出席し、各種助言)【新庄市最上郡医師会】 ・小児生活習慣病予防検診、学校医活動、防煙活動、教育関係者への研修活動 学校保健委員会へ積極的に参加。養護教諭を中心とした研修会へは講師として参加。防煙教育は原則各学校医が行っている。H5年～教育委員会が始めた小児生活習慣病予防検診に参加。庄内の子どもの心を考える会に協力、教育関係者への研修を行う。【鶴岡地区医師会】 ・(校医による)小学校から禁煙教室の実施【米沢市医師会】 	
7	福島	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生に対する救急蘇生法講習会【郡山医師会】 ・学校医と養護教諭との懇談会【会津若松医師会】 ・地域学校保健委員会【福島県医師会】 	

8	茨城	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の生活習慣病防止対策事業【茨城県学校保健会、茨城県医師会】 茨城県学校保健会が市町村負担金において予算を確保し実施していた事業の予算がH18年迄でカットされ、H19年度から茨城県医師会学校保健委員会で予算を確保し、県医師会から茨城県学校保健会へ業務委託している。 H14年度より県内公立小中学校の学年、男女別で肥満度調査を実施。 過去5年間の集計結果について、学校医及び養護教諭対象とした茨城県医師会学校医研修会において報告を行った。調査結果をどのように活かしていくかが今後の課題。 	
9	栃木	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医研修会【栃木県医師会】 ・健診、予防医学、講演会【宇都宮市医師会】 ・先生、保護者、生徒にむけた講演会 ・就学指導委員会 委員会以外にも就学に関する指導、学校への対応について連絡指導を実施 ・性教育講話 市内中学生に産婦人科医が性についての指導を実施 【佐野市医師会】 ・那須地区学校保健会 ・那須塩原市西那須野学校保健協議会 ・中学校への性教育 ・県立高等学校に対する性教育【那須郡市医師会】 ・研修会など開催【足利市医師会】 ・学校保健会において児童に対して健康講話の実施【芳賀郡市医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・郡市区医師会内学校研修会【上都賀郡市医師会】
11	埼玉	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県医師会学校医ニュース発行 ・学校医研修会開催 ・学校検尿尿糖陽性者管理状況調査の実施 ・子どもの心の健康問題検討 ・学校の健康診断における運動器健診の充実【埼玉県医師会】 ・児童生徒心臓検診 ・小児生活習慣病予防検診【川越市医師会】 ・生活習慣病のチェックと個別指導 ・運動器検診、モデル事業【岩槻医師会】 	
12	千葉	<ul style="list-style-type: none"> ・印旛市郡学校保健会【印旛市郡医師会】 ・学校医講習会(年3回)【松戸市医師会】 ・小児期の生活習慣病対策【野田市医師会】 ・教育講演会【八日市場市匠瑳郡医師会】 ・性教育、性感染症予防対策の充実 ・禁煙教育の推進 ・生活習慣病対策【浦安市医師会】 ・研究協議会、学校保健会主催市民公開講座等【鎌ヶ谷市医師会】 ・学校保健委員会【銚子市医師会】 ・学校医部会設立(H19年度) ・学校・地域保健連携推進事業への協力 ・特別支援教育における医療的ケアへの協力【千葉県医師会】 	

問6:学校保健の充実を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
13	東京	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市医師会はしかゼロ対策委員会 全医師会員によるはしかサーベランス事業。教育委員会学務課と協力・助言し、接種率向上活動、患者発生時の対策指導。 ・学校医活動 児童・保護者・教職員に対する啓発活動。【町田市医師会】 ・生活習慣病予防検診 肥満度による対象者抽出で、採血を伴う検診・栄養士による指導(継続的管理)。 ・腎臓検診 区立小中学校全児童生徒に対し学校保健法にもとづく尿検査。 ・心臓検診 区立小1年及び4年、中1年に対し学校保健法にもとづく心臓検診。【世田谷区医師会】 ・小児生活習慣病予防健診(健診後、個別相談会)【江東区医師会】 	
14	神奈川	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙防止教育の推進【横浜市医師会】 ・子ども生活習慣病予防対策【平塚市医師会】 ・厚木愛甲地区専門校医(相談医)事業・厚木児童思春期精神保健ネットワーク【厚木医師会】 ・児童生徒肥満対策事業・児童生徒尿等陽性者対策事業 ・各専門校医(専門相談医)対策事業導入のため学校保健研修会の開催【相模原市医師会】 	・子どもの生活習慣病に対する検診を要望
15	新潟	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防検査、貧血検査 中学2年生を対象に実施【長岡市医師会】 	
16	富山	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児・学校保健委員会【富山県医師会】 ・射水市では全市の学校保健会を立ち上げ射水医師会は助成金を寄付。 【射水郡医師会、新湊市医師会】 ・心臓検診(小中学校)小児生活習慣病(小中学校)予防健診 ・学校保健委員会の開催(全小中学校で実施)【高岡市医師会】 ・心とからだの発育の向上、早寝早起き朝ご飯の励行を啓蒙【新湊市医師会】 ・射水郡医師会と新湊市医師会はH20年4月には射水市医師会と統一。 事業は継続される見込み。 	
17	石川	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医研究発表会への参加・喫煙防止プログラム検討小委員会 ・児童虐待防止講演会・専門医の派遣【金沢市医師会】 ・思春期健康教育事業への協力…加賀市はH19年度より3年間で、適切で有効な性教育指導体制を整備するため、全中学生・保護者及び一般市民に啓蒙学集会を行う。医師会は学校医を中心に参画、協力。 ・中学生の貧血等検診【加賀市医師会】 ・学童生徒の心臓検診事業・学校医としての協力・小松市学校保健会への参画【小松市医師会】 ・能美学校保健研究会 年2回程開催。性教育・禁煙教育等について理解を深め、対応を協議【能美市医師会】 ・学校保健委員会で討議(禁煙・性教育) ・小中学生の心臓検診・中学生の貧血等検診【白山ののいち医師会】 ・学校医、園医の派遣【河北郡市医師会】 	

19	山 梨	・山梨県医師会学校医研修会 ・山梨県医師会学校保健講演会 【山梨県医師会】	
20	長 野	<ul style="list-style-type: none"> ・岡谷市学校保健会…医師会・歯科医師会・薬剤師会・岡谷市教育委員会・市内小中学校の学校長・保健師・栄養士が小中学校の管理指導と実際の現場での取り組みについて年一度、発表と特別講師の講演会を実施 【岡谷市医師会】 ・1、生活習慣病対策、2、心の問題への取り組み…毎年、学校保健会を開催し、大学病院等から講師を招いて、養護教員・学校医を対象に講演を行う(質疑応答も活発に行われている) 【大北医師会】 ・飯伊地区包括医療協議会 学校保健対策委員会…飯伊地区包括医療協議会における、三師会・市町村・保健所・圏域内小中学校の校長代表及び養護教諭により構成する学校保健対策委員会の事業として、飯伊地域全体の学校保健について年3回程の委員会を開催 【飯田医師会】 ・小児生活習慣病予防検診…小4・中1全員に定期の検診に加え、HDL・LDLコレステロール・中性脂肪・血糖・貧血検査をし、その事後指導を行う 【諏訪市医師会】 ・学校等関係者と学校医・園医懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ①幼稚園・保育園保健懇談会 ②養護教諭等学校関係者と学校医との懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・学校等現場からの各科への質疑応答及びミニレクチャー ③小児生活習慣病講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・前年度、小中学生対象の心電図・血液検査、検尿検査のまとめ、報告 ・小児生活習慣病関係の講演会 ④子どものこころとからだの問題を考える～学校医と学校関係者の集い～ <ul style="list-style-type: none"> ・年1回、関係者が一同に集い、教育フォーラムを開催する(講演とシンポジウム) 【松本市医師会】 ・こどもの心事例検討会…教育相談センターと連携し、教師・養護教諭・保育師等を集め、こどもの心に関する事例検討会を毎年行っている 【長野市医師会】 	
21	岐 阜	<ul style="list-style-type: none"> ・揖斐郡学校保健会 【揖斐郡医師会】 ・肥満児の為の健康教室 【武儀医師会】 ・各学校、各地区支部の保健会を年に1回開催 【下呂医師会】 	
22	静 岡	<ul style="list-style-type: none"> ・学校専門相談医制度 【御殿場市医師会】 ・小児生活習慣病健診事業 【沼津・焼津市医師会】 ・こどもと家族の精神保健ネットワーク事業 【富士市・富士宮市・静岡市静岡医師会】 ・子どものこころの健康相談事業 【静岡県医師会】 	
23	愛 知	<ul style="list-style-type: none"> ・小児神経科医に依る、教諭に対する電話相談 【名古屋市医師会、名古屋市】 ・学校保健に対応 【一宮市医師会】 ・学校心電図、小1,4 中1年学校保健会 【半田市医師会、医歯薬学校と連携】 ・不登校相談室 【岡崎市医師会】 ・母と子の健康教室 【豊川宝飯医師会】 ・生活習慣病対策事業 ・特別健診 【碧南市医師会】 ・学校保健研究大会 【蒲郡市医師会】 ・学校保健会・保育園保健会事業への協力 【西尾幡豆医師会】 ・学校医参加事業 【新城医師会】 ・養護教員との話し合い、勉強会を教育委員会と進めている 【田原市医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科、産婦人科、整形外科、皮膚科による学校専門医の設置 【名古屋市医師会】 ・心身面の対策 【小牧市医師会】

問6:学校保健の充実を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
24	三重	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の生活習慣病対策事業 ・学校メンタルヘルス推進事業【三重県医師会】 ・中高生に対する性教育(学校・地域連携推進事業)【名賀医師会】 ・学校医と養護教諭の合同研修会【鈴鹿市医師会】 ・学校医と養護教諭のつどい【松阪地区医師会】 ・禁煙教育【伊勢地区医師会】 	<p>出前講演会 小学校高学年への煙草危険、早寝早起き励行等【亀山医師会】</p>
25	滋賀	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健協議会に参加【甲賀湖南医師会】 ・学校医の適正配置 ・学校保健委員会 ・児童心臓健診【草津栗東医師会】 	
26	京都	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医部会心臓検診事業 ・京都市学校検尿事業【京都府医師会】 ・学校保健委員会(校医の推薦)【伏見医師会】 ・圏域障害者自立支援 ・協議会(医療的ケア) ・就学指導委員会への参加【乙訓医師会】 ・市町医、校医研修会【綴喜医師会】 ・生活習慣病対策、禁煙教育の推進【相楽医師会】 ・禁煙教育の推進 ・生活習慣病対策 ・心の問題への取組【亀岡医師会】 ・院内禁煙、学校敷地内禁煙【船井医師会】 ・学校医を通じて食育の充実【舞鶴医師会】 	
27	大阪	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府医師会指定学校医制度 時代に即した学校医活動の推進と自らの資質向上を目的に、学校保健に関わる講習会等を所定単位受講した医師を認定する制度。これにより児童・生徒への健康教育など学校医活動の充実と、学校関係職種間の連携により学校保健の充実を実施。 ・学校におけるエイズ・性感染症予防啓発事業 エイズ・性感染症の専門医が主に中学校・高等学校へ赴き、疾病の基礎的な知識や予防法などを平易に解説を行う。また、性感染症対策委員会を設置し、専門医から指導を受けた委員(学校医)が同様に出張授業を行うことにより、本事業の拡充を図っている。【大阪府医師会】 	
28	兵庫	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康相談・側わん健診・心臓健診・腎臓健診等 各種学校健診に積極的に参加し、事後指導及び判定会議等開催。心の健康問題による不登校等対策として担任、養護教諭からの相談や指導を実施【神戸市医師会】 ・禁煙・食育推進活動(カレンダー作成)…小中学校の児童から食育についての図案を募集、優秀作品数点をカレンダーとして作成、関係機関に配布、啓発を図る ・全校医会…毎年、主任校医、協力校医(全員校医制)を対象に報告、協議、及び講演会開催 ・性教育セミナー…医療機関、教育関係者を対象に講演会を開催 ・AED 講習会への講師派遣…中学校へのAED 配置に伴い、消防局と共に各学校で教職員に対して講習を行う ・小児生活習慣病検診事業…小中学校の児童生徒のうち肥満度30%以上の者を対象に検診実施【尼崎市医師会】 	

28	兵庫	<ul style="list-style-type: none"> ・小児生活習慣病検診…年1回市内全ての小学4年生にアンケート実施。希望者に採血を含む検診、事後指導説明会を開催【川西市医師会】 ・西宮市医師会学校医部会…学校医に就任する医師が年1度集会し、学校保健に関する意思統一を図る【西宮市医師会】 ・「学校支援専門医」派遣事業…学校医を補完するような形で、問題を抱える幼児児童生徒の事例検討や個別相談に専門医の立場から応じる ・防煙教育支援チーム(禁煙ひろめ隊)派遣事業…喫煙・受動喫煙の有害性を子供達に周知させ学校での防煙教育活動の支援強化【加古川市・加古郡医師会】 ・姫路市性相談医の推薦…市教委へ専門医を推薦し、市立小中高校の児童生徒、保護者、教職員への指導、助言を実施。各学校で使用する性教育マニュアルの作成の助言。 ・性教育講演会…市内の公立私立高校からの要請に応じ、講師を派遣。時期や対象に合わせた話題で生徒の啓発 ・肥満症対策…「肥満症対策委員会」を設置し、昭和59年から、市と協力し生活習慣病の抑制に尽力 ・姫路市教育相談センターへの医師推薦…センターへ医師を推薦(精・小・耳・整・眼)、不登校児や保護者に対し適正な指導助言をしている【姫路市医師会】 ・学童検診…小中学校の検尿、検便、小1、中1年生に実施している心電図検査を医師会が委託して実施。結果の把握が充実しており、精密検査受診率の向上につながる。年1回教育委員会、管内小中学校養護教諭との協議会を開催【南あわじ市医師会】 	
29	奈良県	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県医師会指定学校医制度【奈良県医師会】 	
30	和歌山	<ul style="list-style-type: none"> ・学童糖尿病検診…小5、中1,2、市立高校2年生を対象に検査。検診判定委員会で審査、事後指導含め保護者への説明会を実施【和歌山市医師会】 ・思春期体験学習…中学3年生を対象に4ヶ月健診に訪れた赤ちゃんとのふれあい体験や事前学習を通じて性教育より一歩進んだ全人教育を実施【海南医師会】 ・学校心電図…今年度はIRBBB所見のある児童に心エコーを実施【那賀医師会】 ・産婦人科医を全校に校医として選任【有田市医師会】 ・学校における喫煙防止事業…小5,6年生に対し、各学校医が喫煙防止事業を実施。事前に生徒にはアンケート調査、授業後には感想文を書かせる。【日高医師会】 ・市と協力し学童の突然死予防のため、市医師会心臓検診班を組織し、判定・事後管理に当たっている【田辺市医師会】 ・肥満予防事業 児童生徒の肥満度を学校と協力しフォローしている【新宮市医師会】 	
31	鳥取	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙指導医、講演医養成のための講習会【鳥取県医師会】 	
32	島根	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校・地域保健連携推進協議会」へ参画し、積極的に推進を図っている【島根県医師会】 	

問6:学校保健の充実を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
34	広島	<ul style="list-style-type: none"> ・小児ぜんそく対策サマーキャンプ ・性感染症 AIDS講演会【尾道医師会】 ・受託事業(喘息教室、小児生活習慣病予防検診、就学時検診、学校心臓検診、耳鼻科検診、内科検診、腎臓検診、眼科検診)【呉市医師会】 ・心臓検診検討委員会・防煙喫煙予防対策事業 ・就学児健診における発達障害のスクリーニング【東広島地区医師会】 ・生徒への対応についての相談窓口・各科健康相談・皮膚科健診【安佐医師会】 ・学校医、養護教諭連絡協議会【安芸地区医師会】 ・教職員の健康にも注意【豊田郡医師会】 ・講演会や研修会【安芸高田市医師会、三次地区医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・側弯症健診 ・小6の血清コレステロール等の調査【安佐医師会】 ・学校医部会設立【福山市医師会】
35	山口	<ul style="list-style-type: none"> ・kids support in 山口【吉南医師会】 	
36	徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病対策【徳島県医師会】 ・防煙教室 	
37	香川	<ul style="list-style-type: none"> ・学校検診委員会【高松市医師会】 	
39	高知	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県学校医・歯・薬保健研究大会【高知県医師会】 	
40	福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会の活動 ・学校医の質的向上【北九州市医師会】 ・就学児童健診への協力 ・学校衛生環境指導への協力 ・幼稚園、保育園、学校への健診の協力【遠賀中間医師会】 ・小児期生活習慣病対策検討会【福岡市医師会】 ・薬物アルコール利用防止、禁煙講習会【筑紫医師会、薬剤師会と合同】 ・学校心臓健診の拡大 小1、中1の従来の心臓検診に加え、心臓の異常を指摘された小中2年生以上の児童・生徒に対する心臓2次検診を実施【筑紫医師会】 ・高等学校での性教育(産婦人科医担当)【宗像医師会】 ・学校保健会:性教育、生活習慣病対策【田川医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の生活習慣病対策 H19年11月3日に講演会【宗像医師会】
42	長崎	<ul style="list-style-type: none"> ・大村市学校保健会で、大村市医師会学校医部会主催で年2回研修会を開催【大村市医師会】 ・食物アレルギー疾患に対する初期対応マニュアル関係者研修会【五島医師会】 	

43	熊 本	・こころと体の健康アドバイザー事業【(財)熊本県学校保健会】 ※医師会の絡みはないが、主催団体の会長が県医師会長	
44	大 分	・学校保健研修会【大分県医師会】	
45	宮 城	・学校・地域保健推進事業を県教育委員会と協力し実施【宮崎県医師会】	
46	鹿 児 島	・禁煙対策講演会 ・学校、地域保健連携推進事業における専門医派遣【鹿児島県医師会】 ・学校保健研修会【鹿児島県医師会・鹿児島市医師会・始良郡医師会・熊毛地区医師会】 ・小児生活習慣病予防検診【鹿児島市医師会・鹿屋市医師会】 ・親子健康教室【鹿児島市医師会・川内市医師会・鹿屋市医師会・始良郡医師会】	
47	沖 縄	・沖縄県学校保健学校医大会の開催 ・学校医の健康教育の推進(性教育、禁煙教育、心の問題) ・那覇市「小児生活習慣病検診事業」(那覇市医師会) ・学校保健地域連携事業 ・専門医電話相談事業 ・思春期保健研修会(日本産婦人科医会沖縄県支部)※医師会としての絡みはないが医師会員が参画 ・健やか親子おきなわ2010【沖縄県医師会】	

問7:障害児への支援を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
1	北海道	・療育相談、在宅障害児に対する通園事業、訪問支援【旭川市医師会】	・H19年4月に北海道医師会母子保健対策推進委員会を設置【北海道医師会】
4	宮城	・仙南地域医療対策委員会との共同による事業研修会を行う【柴田郡医師会】 ・心身障害児対策協議会 ・心身障害児就学指導委員会【名取・岩沼医師会】 ・心身障害児保健指導医の推薦【登米市医師会】 ・障害児教育支援体制(養護学校医療的ケア運営会議)【宮城県医師会】	
6	山形	・嘱託医としての協力(施設の健診、アドバイス等)【新庄市最上郡医師会】 ・障害者(児)施策推進活動 保健所主催の障害児の療育連絡会に参加、各地域の保健師の相談に応じる。軽度発達障害児への支援を検討中。【鶴岡地区医師会】	
9	栃木	・障害児療育事業 ・障害児診療検査事業 ・カンガルー教室(ことば行動発達支援) ・障害者地域生活支援センター ・日中一時支援事業(養護学校園児の知的障害児の放課後、夏休み一時預かり【宇都宮市医師会】 ・すこやか保育…障害児の保育園通園に対し、巡回指導など行っている ・スペシャルオリンピックス…知的障害者のスポーツ大会の開催など ・のびのび発達相談【佐野市医師会】 ・乳幼児健診後の対策事業への専門医派遣【足利市医師会】 ・発達障害児早期発見事業の中で発達健診への参加と支援体制づくり協議会への参加【芳賀郡市医師会】	
11	埼玉	・特別支援教育の学校の対応についての講演会【岩槻医師会】	
12	千葉	・医師会独自の事業ではないが、松戸市「心身障害児就学指導委員会」へ医師を派遣、事業遂行に協力【松戸市医師会】 ・特別支援教育への協力【浦安市医師会】 ・障害児支援対策委員会【銚子市医師会】 ・特別支援教育における医療的ケアへの協力【千葉県医師会】	

13	東京	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっとステーション55(レスパイト支援事業) 市内NPOが行う障害児保護者支援事業(一時預り)に対して医師会員が医療的サポートを行うことの承認・援助【町田市医師会】 ・板橋区こどものこころの健康を考える会 発達障害児の発見と支援を小児精神の専門医、学校医、教育委員会、保健所等の行政機関と協力して推進【板橋区医師会】 ・特別支援学級における指導相談…各特別支援学級において医師の専門的な指導・助言を受けることにより、適切な教育指導の推進を図る ・総合福祉センターへの協力(嘱託医)…障害に関する相談ならびに各種の指導訓練を実施【世田谷区医師会】 ・足立区障害福祉センター「あしすと」嘱託医派遣 知的障害児の判定。知的障害児の発達遅延の診察と経過観察→足立区医師会では、身体障害者部を設立。通所者の父兄に対する講演会・懇親会を開催【足立区医師会】 	
14	神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児の婦人科に関する相談【厚木市医師会】 ・心身障害児者訓練センターに医師派遣および同訓練センターの診察委員会に参加【相模原市医師会】 	・障害者基本法における認定審査への協力
16	富山	<ul style="list-style-type: none"> ・射水市精神福祉協議会があり、事業に協力している【射水郡医師会】 ・健診時はもとより就学時についてはどのような環境で就学した方がよいか相談を実施【新湊市医師会】 	
17	石川	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害講演会の開催【金沢市医師会】 ・養護学校保健委員会で保護者代表対象講演会【白山ののいち医師会】 	
19	山梨	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨県新生児聴覚スクリーニング事業協議会【山梨県医師会他】 	
20	長野	<ul style="list-style-type: none"> ・千曲市の設置する心身障害者母子通園訓練 千曲市では、心身障害児を母またはその他の保護者とともに通園させて、機能回復訓練及び生活指導を行い、児童の育成助長に資するため、心身障害者母子通園訓練施設を開設しており、本施設に小児科医2名を派遣【千曲医師会】 	
23	愛知	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉計画対策事業、障害者支援法審査会参加【新城医師会】 	・障害のある方の「受診サポート手帳」の作成【名古屋市医師会】
24	三重	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児聴覚スクリーニング推進協議会(講習会開催)【三重県】 ・亀山モデルの実施【亀山医師会】 ・障害児・病児保育 特定の園(医師会協力、障害児への医師会訪問看護)【松阪地区医師会】 	
25	滋賀	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児就学指導委員会に参加【甲賀湖南医師会】 	

問7:障害児への支援を行っていますか

		現在行っている事業	今後、新たに予定している事業
26	京 都	<ul style="list-style-type: none"> ・健康ウォーク(一般市民及び障害児の参加あり)【東山医師会】 ・医療的ケアの充実(手話教室の実施)【相楽医師会】 ・医療的ケアの充実【亀岡医師会】 	
27	大 阪	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児聴覚スクリーニングマニュアルの作成と研修会の開催 ・小児の医療的ケアマニュアルの作成と研修会の開催 ・医療的ケア実習用モデル人形の製作 大阪府の設置する大阪府障害者自立支援協議会への参加。府内各市町村にも設置予定。医師会として協力するよう要請している。【大阪府医師会】 	
28	兵 庫	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの支援連絡調整会議 LD、ADHD、高機能自閉症などの児童生徒に対し、学校がきめ細やかな指導を行うセンターとの連絡調整。【神戸市医師会】 ・尼崎市における障害者医療費の対象者拡大実施 身障手帳1～3級、知的障害者判定書中級以上等が対象【尼崎市医師会】 ・医療的ケアの充実 通園リハビリ施設「さくら療育園」の園児に対し、小児科、整形外科、精神科医が月に1回、眼科、耳鼻科医が年2回健診を実施【川西市医師会】 ・障害者検診 医師会健診センターにおいて、市内の障害者の検診を実施(西宮市社会福祉協議会の依頼)【西宮市医師会】 ・発達相談…月1回、市の行う発達相談に会員が出務【加西市医師会】 ・療育会議…地域全体で横割りの協力体制構築及び連携【高砂市医師会】 ・就学指導…市内の小学校入学前の障害児の就学指導を実施【たつの市・揖保郡医師会】 ・児童デイサービス支援…会員が経営している、児童デイサービスのサポート ・特別支援教育…要請のあった学校へ出向し、教職員向けに発達障害について、また指導の仕方について講義をおこなったり、個別ケースについてカンファレンスを実施【南あわじ市医師会】 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害児への早期介入を図るため、5歳児健診の実施、市立総合福祉通園センター、姫路赤十字病院等二次施設の専門医と関係委員会にて積極的な交流を図る。【姫路市医師会】
30	和 歌 山		<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育対策委員会を設置予定【日高医師会】
31	鳥 取	<ul style="list-style-type: none"> ・盲・聾・養護学校における医療的ケア実施体制の整備【鳥取県医師会】 	
34	広 島	<ul style="list-style-type: none"> ・就学児健診における発達障害のスクリーニング ・スクリーニング、発達障害理解のための研修会【東広島地区医師会】 ・委嘱医を置き定期健診、専門医紹介等【豊田郡医師会】 ・水中活動企画立案事業【福山市医師会】 	

36	徳島	・メンタルヘルス対策委員会【徳島県医師会】	
40	福岡	・特別支援学校における緊急時の医療的ケア体制の整備【北九州市医師会】 ・近隣の障害施設『すきま園』への医師派遣【遠賀中間医師会】 ・障害児就学指導委員会【田川医師会、教育委員会】	
42	長崎	・障害児支援センターなどに、各医療機関がPT・ST等を派遣【平戸市医師会】	
43	熊本	・ほほえみスクールライフ支援事業…医師会は医療機関の推薦を行っている【熊本県】	
46	鹿児島	・発達障害、特別支援教育に関する講演会、意見交換会（H18年度マニュアル作成） 【鹿児島県医師会】	
47	沖縄	・医療的ケアの充実 ・長期入院障害児の後方ベッド確保の推進 ・心身障害児支援 ・健やか親子おきなわ2010【沖縄県医師会】 ・日母おぎゃー献金基金（日本産婦人科医会沖縄県支部） ※医師会としての絡みはないが医師会員が参画	

問8: 最も先駆的に行われていると貴会が考える事業について、一つ選び具体的にご記入下さい

		事業名・実施医師会名	事業開始時期	具体的内容	行政からの有無
1	北海道	旭川市医師会時間外急病医療体制【旭川市医師会】	昭和52年8月	「小児の時間外診療は小児科医が担当」。小児の時間外22時までの診療は小児科開業医が輪番制で担当。22時～翌朝は夜間急病センターを経て二次救急病院の小児科か、旭川厚生病院小児科(小児救急拠点病院)が担当。	○
2	青森	いのちをはぐくむ教育アドバイザー事業【八戸市医師会】	平成14年	八戸市教育委員会から委託された「いのちをはぐくむ教育アドバイザー」が八戸市内の全中学校に出向き、「性教育」「いのちを大切に作る心」などを講演。中学生の「沐浴体験」なども行っている。	○ 講師料として
		上北地方学校保健会【上十三医師会】	昭和33年	毎年1回上北地方学校保健研究大会の開催。その他各市町村における研究大会を開催。	○
3	岩手	なし			
4	宮城	障害児教育支援体制(養護学校医療的ケア運営会議)【宮城県医師会】	平成16年度	養護学校(特別支援学校)で実施される「医療的ケア」に対するメディカルコントロール体制の構築と一般教諭への支援を行う。	○
		産科セミオープンシステム【仙台市医師会・仙台産婦人科医会】	平成17年12月	通常の妊婦定期健診は近くの診療所で、分娩は施設の整った病院で行うシステム。分娩を担当する、国立病院機構仙台医療センター・仙台赤十字病院・仙台市立病院・東北大学病院・東北公済病院・NTT東日本東北病院と仙台産婦人科医会との連携による。妊婦が保持する共通診療ノートにより、妊婦の状態を把握する。原則として、正常な経過をたどっている妊婦が対象だが、経過中の異常など緊急時は分娩予定の病院が対応。仙台産科セミオープンシステム協議会を設置し、運営上の問題点について検討。	○ 平成17～19年度までは周産期医療施設オープン化モデル事業・20年度以降は協議会運営の予算措置
5	秋田	学校保健協議会【由利本荘医師会】	昭和58年	・学校検診結果に基づき専門医による指導・アドバイスの実施 ・特別講演会の開催 *数年前から、歯科医師会と連携を図り、歯科検診関係の講話もお願いしている。 ・対象者…由利本荘市、にかほ市の全小中高の養護教諭と学校医	×
		育児支援アンケート【秋田市医師会】	平成18年	・乳幼児健康診査を行う際に、育児や子育てに関する内容を保護者の方にアンケート形式で答えてもらい、様々な相談し保健師と医師で対応する。 ・アンケート結果を確認し、内容から子どもへの虐待があると思われる場合は、積極的に関与していく。	×
6	山形	小児生活習慣病予防検診【鶴岡地区医師会】	平成5年	小学5年生以上は、ローレル指数160以上の児を対象に検診。小学1～4年生は肥満度50%以上の児を対象に検診。	×
7	福島	地域学校保健委員会【福島県医師会】	平成8年	一つの中学校とその学区にあたる小学校を対象とし、各校の校長、養護教諭、保健主事、学校医、PTAをもって組織し、地域内での健康に対する意識向上を目的とした講演会や生徒の健康に関する意識調査、健康増進に向けた様々な施策について、学校保健において必要と思われる内容を実施する。 平成8年より3年間の事業として現在までに4地区で実施しており、地区によっては市町村教育委員会で予算化されて現在も継続されている。	—
8	茨城	茨城県不妊専門相談事業【茨城県産婦人科医会】 ※医師会としての関わりはない	平成15年	茨城県から茨城県産婦人科医会が委託を受け実施。茨城県3箇所(水戸市、土浦市、筑西市)に相談センターを設置し、隔週日・木曜に実施。医師と助産師、助産師とカウンセラーがそれぞれペアになり相談にのっている。一カップル約一時間。相談者の便宜を図り県内3箇所に設置、また、医療機関内ではなく、旧県庁舎、生涯教育センターを利用(病院では敷居が高いようで、相談しづらいようである)	○ 年額450万円
9	栃木	宇都宮市子ども発育センター、西部保育園【宇都宮市医師会】	平成18年4月	行政が主体となり、宇都宮市子ども発育センター、西部保育園にて下記の事業を実施。医師会は医師を派遣している。 ・子どもの発達について保健・福祉分野の様々な支援を行う ・乳幼児発達健診 発達に遅れがある子を対象に専門医による相談 ・5歳児発達健診 保育園・幼稚園の年中児を対象に心理士による発達の遅れに関する相談 ・知的障害児、肢体不自由児の就学前の社会適応に向けた訓練 ・ことば発達指導(カンガルー教室)	○
		佐野・休日・夜間緊急診療所(小児医療体制の充実)【佐野市医師会】	平成17年7月	休日夜間診療所において、休祝日の日勤帯に小児科専門医による一次救急を行っている。	○
		夜間小児(1次)救急【足利市医師会】	平成18年	足利市医師会、足利赤十字病院との協力で開始 平成19年度より足利市が協力を開始	○
		子どもとメディアに関する講演【南那須医師会】	平成18年12月	メディアと子どもの健康調査などを行ない、メディアからの影響についての講演を一般市民向けと小・中生を対象に行っている。	○ 平成20度より補助
		芳賀地区急患センター【芳賀郡市医師会】	平成18年4月	小児夜間診療のため、休日当番医として輪番制を取り入れていたが、芳賀郡市医師会と行政の連携のもと急患センターを立ち上げた。当初は小児対象であったが、今は内科診療まで行っている。	×
10	群馬	なし			
11	埼玉	子育て相談窓口【埼玉県医師会】	平成17年7月	一般県民から、妊娠から子育てまで些細な事も書面にて相談を受ける。個人情報・秘密の厳守の利点を生かし、回答も書面。医療関係の相談は、子育て相談窓口委員会の各専門医が回答。医療以外は、県のリストアップされた子育て支援事業所から適切な窓口を紹介。	×

問8: 最も先駆的に行われていると貴会が考える事業について、一つ選び具体的にご記入下さい

		事業名・実施医師会名	事業開始時期	具体的内容	行政からの有無
12	千葉	新銚子市母子保健計画【銚子市医師会】	平成8年度	子どもの健やかな成長と、安心して子育てできる環境確保	×
		生活習慣病予防健診【浦安市医師会】	平成4年	平成4～7年度は小児成人病予防検診、平成8年度より生活習慣病予防検診として実施。	○
		教育講演会(公開講座)【八日市場市匝瑳郡医師会】	平成18年度	平成19年2月3日(土)開催「こころを育てる育児」講師:吉川武彦先生(国立精神神経センター精神保健研究所名誉教授) 対象:養護教諭、保護者、学校医、一般 参加人数:50名	○
		小児期における生活習慣病対策【野田市医師会】	昭和58年	昭和58年:高度肥満児を対象に合宿指導を教育委員会と共に設立 平成6年:小児肥満対策を生活習慣病対策委員会と改名。小4、中1全生徒の希望者を対象に総コレステロール・HDLコレステロール・尿検・血圧測定の見診事業開始。 現在:肥満児を対象に指導事業サマースクールを小4、中全生徒の希望者を対象とした生活習慣病の血液検査を実施	○
		印旛市郡小児初期急病診療所【印旛市郡医師会】	平成14年10月1日	佐倉市健康センター内に開設。小児診療開業医と病院小児科勤務医が交代で担当 平日・土曜:19～6時。日曜・祝祭日・年末年始:9～17時、19～6時。	○
		夜間小児急病センター【松戸市医師会】	平成18年4月1日	平成16年4月より、市内外の小児科医・内科医が輪番制で急病診療所を開設していた(20～23時)。 平成18年4月より市立病院も参加し、松戸市立病院敷地内に診療所を開設。時間も18～23時に拡大。 平成18年度診察患者数:9526人(月平均794人)。	○
		千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業【千葉県医師会】	平成16年6月1日	市町村長が行う定期予防接種の実施医療機関の範囲を県内全域とし、定期予防接種対象者の利便性を増し、予防接種率向上及び健康被害の防止を図る目的にて実施。	×
13	東京	親子健康相談支援事業【板橋区医師会】	平成18年	妊娠・出産・育児の不安を解消し、安心して育児ができるように、区の委託を受け区内全域で定期的に①プレママ・プレパパコース②乳幼児コースを開催。①は妊娠中の夫妻を対象に、産科医・小児科医・助産師が共同で妊娠・出産・産直後の育児などの心構えなどをアドバイスする。②は乳幼児の母を対象に、小児科・耳鼻科・皮膚科・眼科・歯科の各医師が共同でミニ講演会を行う。	○
		幼児、からだの本図書室【目黒区医師会】	平成20年1月予定	①幼稚園児・小学1～3年生を対象とした保健・衛生・医療関係の本のみを備える。②園医・校医・看護師・保健婦・体育や理科の教員等に10分程度、話をしてもらう会を月に1～2回開く。③小さい頃から、体のしくみの素晴らしさ・健康の有難さ・予防の大切さを教え、いじめや自殺などがいかに罪深い事かを悟らせたい。	○
		小児生活習慣病予防健診【江東区医師会】	昭和63年	体重・身長・腹囲の計測、肥満度計算血圧、血液検査(脂質・貧血・肝機能)を行い、結果に基づいて指導を区分。相談者には個別相談会を開催して医療・健康相談を行う。	○
		子育て支援セミナー【文京区医師会】	平成14年頃	小石川医師会と共に毎月1～2回、地域の子育て中の母親を中心に母児共に医師会館に集め、保健婦や小児科医が、子供の事故・病気等について解説したり相談を受けて無料で指導する。	○
14	神奈川	横浜市内保育園児の予防接種実態調査【横浜市医師会】	平成7年度	市内保育園児の実態把握と接種勧奨を目的として、市内公立全園(112園)・私立認可園(114園)・横浜保育室(75園)計301園(平成18年度実績)の園児保護者へ調査用紙を配布、母子手帳を元に接種状況を記録してもらい回収集計している。	×
15	新潟	プレネイタルビジット【新潟市医師会】	平成9年頃	小児科医と産婦人科医が行っている。分娩前妊婦夫婦が、産婦人科と協力している小児科医を訪れて、出生後の児への対応や事故防止等の指導を行っている。	×
16	富山	郡内全中学(3校・2年生対象)心肺蘇生実習会【射水郡医師会】	平成13年(6年前)	毎年夏休み前の日時を選び、一日一校の予定で各校2年生を対象として“心肺蘇生”講習会を行う。射水市消防本部より救急隊の参加及び実習人形を借りる。	×
		小児生活習慣病予防検診【高岡市医師会】	平成6年度	高岡市内小学校4年生、5年生(4年生のとき要精検者)、中学校1年生、2年生(前年度要精検者)対象に、肥満、高脂血症、高血圧症、貧血等の生活習慣病の早期発見、健康指導を徹底し、疾病の予防対策を図るための検診。要精検者は2次検診をを医療機関で受け、指導を受ける。	○
		学校保健会で心肺蘇生の知識(AEDも含めて)の普及に努める【新湊市医師会】	平成18年4月	学校保健会で心肺蘇生の知識(AEDも含めて)の普及に努める	○
17	石川	喫煙防止プログラム検討小委員会【金沢市医師会】	平成17年	喫煙防止を促すためのオリジナルCDを作成、学校医が講演等で活用できるよう使用説明会を開催。養護教諭にも提供。	×
		思春期健康教育事業【加賀市医師会】	平成19年	加賀市は教育委員会と連携し平成19年度より3年間で、適切で有効な性教育指導体制を整備するため(HIVを含む性感染症を予防)、全中学生徒・保護者及び一般市民に啓蒙学集会を行う。医師会は学校医を中心に参画、協力。	×
		次世代育成支援対策【河北郡市医師会】	平成17年	行政の事業計画への参画	×
		みんなで一緒にタバコを考える講演会【羽咋郡市医師会】	平成18年	子どもをタバコから守るために喫煙予防・受動喫煙について地域の皆さんに知っていただき、一緒に考える機会を作る。	×
18	福井	なし			
19	山梨	山梨県新生児聴覚スクリーニング事業推進協議会	平成17年1月	山梨県医師会、山梨大学医学部耳鼻咽喉科、山梨県立ろう学校、関連病院で事業を立ち上げた。当初、山梨県にも参加を呼びかけたが、協力を得られなかった。平成18年度に山梨県福祉保健部障害福祉課・健康増進課が中心となり、新生児聴覚検査等支援小委員会が立ち上がったことにより、行政との連携が緊密となり本事業は軌道に乗ったと考える。これからは、行政の支援も得られたこともあり、本事業を推進することにより、新生児の聴覚障害者、難聴の早期発見に、寄与出来るものと考えている。	○

問8: 最も先駆的に行われていると貴会が考える事業について、一つ選び具体的にご記入下さい

		事業名・実施医師会名	事業開始時期	具体的内容	行政からの有無
20	長野	「健康の記録(予防接種手帳)」の作成【飯田医師会】	平成19年4月1日	各種予防接種や各種検診が、母子手帳年齢以降は記録が散逸することのないように、飯田医師会の提案により、飯伊地区包括医療協議会が「健康の記録(予防接種手帳)」を作成し、予算の関係で当面、全対象者を新生児・保育所幼稚園年少入園者・小学校1年生とし、配布。健康増進法による健康の記録とも連動したものとして作成。飯伊地区包括医療協議会では、学校保健対策委員会の活動として、学童・生徒の脂質検診、学校保健の現状報告、等々を三師会、学校養護教諭、市町村、保健所の代表者により実施。	○ (飯伊地区包括医療協議会の補助金の一部として)
		小児生活習慣病予防検診【諏訪市医師会】	平成13年度	小4・中1全員に定期的検診に加え、HDL・LDLコレステロール・中性脂肪・血糖・貧血検査をし、その事後指導を実施	○
		子どものこころとからだの問題を考える～学校関係者と学校医の集い～【松本市医師会】	平成14年7月	開催頻度……年1回、300人程度の会場借り上げ 参集対象者…学校関係(校長、養護教諭、PTA)、市関係(市長、教育長、教育委員会) 学校医等(各科専門委員、医師会役員)、行政(保健所、保健師) 内容等……基調講演(2～3題)・毎回メインテーマを決め、関係の専門講師に依頼 シンポジウム・学校現場、PTA、医師会関係(学校医)、基調講演講師によるシンポジウムを行い、後にフロアーとの意見交換を行う。 記録等…記録集を作成し、各校及び全学校医へ配布。共通認識と今後の課題を検討する	○ (松本市及び松本市教育委員会共催により若干)
		小児初期救急センター【上田市医師会】	平成16年4月17日	長野病院敷地内に開設。 月～土曜日、午後8～11時まで夜間救急診療実施(日曜・祭日と8月14日～16日、12月30日～1月3日は休診、緊急当番医が対応)上田市医師会、小県医師会、信大医学部附属病院医師が交代で担当。	○ (上田市他2町が運営)委託料有り
21	岐阜	武儀(関市児童健康教室)【武儀医師会】	昭和61年8月	関市学校保健会の事業として立ち上げ、今年で21回目となった。 武儀医師会が全面的にバックアップ。関市教育委員会も協力した。	-
22	静岡	子どものこころの健康相談事業【静岡県医師会】	平成19年度	・子どものこころの健康相談事業 ・医師・学校保健関係者向け研修事業	○
23	愛知	パパママ教室【名古屋市医師会】	平成17年	妊娠中の母やその家族に向けて小児科医が出産台の子育てについて具体的に指導する	○
		生活習慣病対策【碧南市医師会】	昭和62年	開始は成人病若年化対策としてはじまった。市内小4と中1を対象に身体測定、血圧測定、血液検査を実施。毎年1校を対象に小4児童の栄養実態調査を実施。	○
24	三重	成育記録表を用いた健診【全県下】	平成16年	子どもの心の発達や子育てのひずみを早期発見すべく、園医健診の際に使用できるよう成育記録表を作成。成育記録表は誰にでも活用してもらえるよう県医師会のHPから無料でダウンロードできるようになっている。	名張市のモデル事業→○ 表作成→×
		発達障害児教育支援【亀山医師会】	平成16年	行政主体。発達障害児を早期に把握し、保育や教育現場で障害に配慮した接し方をする仕組みをつくる。教師等が発達障害を学ぶ研修会を開催。	○
25	滋賀	甲賀湖南学校保健協議会【甲賀湖南医師会】	昭和48年頃	禁煙の呼びかけ・救急蘇生法講習・虫歯予防・各種検診の統計的観察を行い、年ごとに記録をまとめている。医師会・歯科医師会・PTAが協力。	
26	京都	学校検尿事業【京都府医師会】	平成16年	診断の進め方マニュアルを作成。	×
27	大阪	なし			
28	兵庫	なし			
29	奈良	奈良県医師会指定学校医制度【奈良県医師会】	平成16年4月	地域保健活動の円滑な推進と健康教育の充実・発展を図るため、学校医としての資質の向上を目的として、学校保健等に関する研修会を実施している。	-
30	和歌山	学校における喫煙防止事業【日高医師会】	平成17年度	小学5,6年性に対し、各学校医が喫煙防止事業を実施、事前に生徒にはアンケート調査、授業後には感想文を書かせる。	
31	鳥取	なし			
32	島根	益田市医師会職員保育所【益田市医師会】	平成18年	益田市医師会は益田地域医療センター医師会病院を経営しているが、職員の就業環境改善と子育て支援のため併設保育所を設けている。 平成18年4月定員15名で発足し、平成20年4月から定員40名とするため現在保育所を移転改築中である。	○
33	岡山	なし			
34	広島	なし			
35	山口	なし			
36	徳島	はぐくみ支援	平成3年	はぐくみ支援事業: 県医師会、県歯科医師会、県栄養士協会、県看護師協会、県助産師会、県保育士協会、県内の2大学の児童保育科・児童科、新聞社、県こども未来課・各郡市の子育て支援課などと共催。遊びと学びを大ホールで開催。医師会は健康と医療の関わり禁煙、子どもの身の周りの危険防止、救急蘇生、相談事業など職員が関わっている。 はぐくみ支援セミナー: 子育ての悩みを解決するためと保育士さんのスキルアップと親を育てる目的のために子育てに関わる保護者および保育所や幼稚園の保育士・看護師を中心とした講演会および相談会を月1回開催。医師会は、毎回講師を派遣している。	×

問8: 最も先駆的に行われていると貴会が考える事業について、一つ選び具体的に記入下さい

		事業名・実施医師会名	事業開始時期	具体的内容	行政からの有無
37	香川	学校検診委員会【高松市医師会】	昭和63年4月1日	下記の6委員会を設け、主として学校での定期健康診断結果から浮かび上がる問題点を洗い出し、対策と方向を探り、年度末の「全体会」で発表・提言をする。 心臓委員会、腎臓委員会、小児生活習慣病予防委員会、眼科委員会、耳鼻科委員会、メンタルヘルス委員会	×
38	愛媛	食物アレルギー対策【愛媛県医師会】	平成18年度	保護者・園・医療関係者の連絡を緊密なものとし、食物アレルギーを持つ子どもに対する安全かつ栄養バランスのよい食事の提供を目指す。 ①定期的な講演会・講習会の開催 ②県内統一規格の除去食連絡票(診断書・除去食品表)の作成・普及 ③食物負荷試験実施病院と診療所間の病診連携の確立	×
39	高知	なし			
40	福岡	口唇口蓋裂児の出生前診断から始まる家族への支援【北九州市医師会】	-	口唇口蓋裂児の出生前診断から家族への支援を行っている	○
		産婦人科専門医レジデント研修生の募集【北九州市医師会】	-	産婦人科医後期研修医の養成を医師会が地域の医療機関と協力して行っている	○
		健康対策協議会【遠賀中間医師会】	昭和55年4月	1市4町の健康福祉の担当が月1回集まり、保健所、医師会の担当者も参加 協力として①地域の健康増進のための具体案 ②予防接種事業の普及 ③地域での健康づくりのための講演会の実施など 幅広く、情報交換と協力体制を構築している	○
		福岡市医師会方式乳幼児健診事業【福岡市医師会】	昭和62年	福岡市で行われている4ヶ月、10ヶ月、1歳6ヶ月、3歳児の乳幼児に対する公的健診を補うため、本会独自の健診システムとして1ヶ月、7ヶ月、12ヶ月児、1歳から6歳児までの健診を積極的にを行い、乳幼児に対する一貫した健診システムを確立した。健診票は独自の様式を作成し、健診で得られたデータは北九州大学病院医療情報部に蓄積、分析を委託している。その分析結果と新たな知見を関係機関に還元し、育児指導や保健指導の向上に役立っている。	×
		筑紫地区小児救急医療事業【筑紫医師会】	平成16年	福岡徳洲会病院(春日市)と福岡大学筑紫病院(筑紫野市)が曜日別に分担して、小児救急診療を行っている。この事業においては同院の医師のみならず、筑紫医師会に所属する開業小児科医が非常勤医師として診療にあたっている。	○
		宗像急患センター(小児科・内科)【宗像医師会】	昭和56年3月1日	土曜18時～月曜6時、祝日、盆(8月14、15日)の9～21時 昭和62年4月1日より 平日夜間(19時半～翌日6時まで)開始	○ 宗像市、福岡町、津屋崎町、玄海町の組合が作り、宗像医師会が運営
		地域連携ささえあい小児医療【田川医師会】	平成18年11月	筑豊小児科医会(飯塚、田川、直方医師会)の有志の会員17名の小児科専門医が飯塚病院小児科と組んで平日の19時～10時まで当番で救命救急センターに出務し診療を行っている。電話相談も每晚実施している。	×
		小児診療当番医による平日、休祭日の夜間診療【大牟田医師会】	平成14年4月	1年中を通して、小児の夜間診療をする小児当番医を配置し、市広報紙、新聞等で周知を図っている。	×
		八女筑後地区小児救急対策連絡協議会【八女筑後医師会】	平成16年2月12日	平成15年7月、福岡医師会内にて小児救急医療委員会が設置され、これをもとに八女筑後地区医師会では、公立八女総合病院、筑後市立病院の共同利用型を提唱し、平成16年2月12日「八女筑後保健医療圏における小児救急医療提供体制についての意見交換会」に基づいて合意事項を作成。平成16年4月より平日19～22時までの準夜間帯に小児の夜間救急医療を開始。平成18年4月に発足した小児救急委員会の中で「八女筑後地区小児救急医療対策連絡会議要領」を作成、今後これに則って連絡会議を行い、小児の夜間救急を進めて行くことになった。	×
浮羽乳幼児保健会【浮羽医師会】	平成14年4月	・講演会(保育士が多い) ・研修会(保育士が多い) ・妊娠、出産、子育て講演会	○		
41	佐賀	なし			
42	長崎	長崎市医師会立看護学校助産師養成コース【長崎市医師会】	平成20年度開設予定	※平成19年10月末に厚生労働省実地調査、12月に認可が下りる予定 募集定員:20名/年 修業年限:1年間 講義時間:8～17時(平日) 臨地実習:3ヵ月間(分娩10例以上が卒業案件)	×
43	熊本	こころと体の健康アドバイザー事業【熊本県学校保健会】 ※会長は熊本県医師会長	平成13年度	平成13年度に「こころの健康アドバイザー事業」としてスタート、平成16年度に「体の相談」も加える。医療・教育委員会・学校との連携を密にするため、本事業の事務局を(財)熊本県学校保健会に設置(元々は医師会に設置予定であった)	—
44	大分	育児等保健指導(ペリネイタルビジット)事業	平成13年度	妊産婦を持つ育児不安の解消のため、産婦人科医と小児科医の連携のもと、小児科医より育児に関する保健指導を受ける機会を提供することにより、育児不安の解消をはかると共に子どものかかりつけ医師の確保を図る	○
45	宮崎	なし			
46	鹿児島	親子健康教室 【始良郡医師会:平成元年】【鹿児島市医師会:平成6年】 【川内市医師会:平成11年】【鹿屋市医師会:平成13年】	左記	教育委員会・歯科医師会・薬剤師会・栄養士会・PTAなどと連携し、親子体験健康教室として県内4地区で開催。小学校高学年を対象に、心臓・運動・タバコ・栄養・口の健康などの教室に分かれ、親子で小児生活習慣病予防のための体験学習を行う(鹿児島市は栄養・運動指導のみ)。	×
47	沖縄	沖縄県はしか「0」プロジェクト【沖縄県医師会】	平成15年	・沖縄県麻疹発生全数把握 ・沖縄県麻疹発生時対応ガイドライン	×

(地Ⅲ131)

平成19年8月10日

都道府県医師会

担当理事 殿

日本医師会常任理事

今村 定臣

日本医師会母子保健検討委員会委員長

前川 喜平

「子ども支援日本医師会宣言に関する調査」の協力依頼について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本医師会母子保健検討委員会では、会長諮問「子ども支援日本医師会宣言実行のための具体的方策」について、現在検討中であります。答申の中に、子ども支援日本医師会宣言に掲げる施策に対し、具体的に取り組んでいる医師会の事業を盛り込むことにより、他の医師会の参考としてもらい、子ども支援日本医師会宣言の推進に資することを目的として、標記の調査を実施することといたしました。

つきましては、子ども支援日本医師会宣言に掲げる施策（8を除く）の中で、都道府県医師会及び管下郡市区医師会において先駆的に行われている事業（複数可）について、別紙調査票にご記入いただき、9月18日（火）までに日本医師会地域医療第3課宛にお送りいただきますようお願いいたします。

ご多忙のところ、恐縮に存じますが、趣旨をご理解の上、ご協力方よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

子ども支援日本医師会宣言に関する調査

調査目的：会長諮問「子ども支援日本医師会宣言実行のための具体的方策」の答申の中に、子ども支援日本医師会宣言に掲げる施策に対し、具体的に取り組んでいる医師会の事業を盛り込むことにより、他の医師会の参考としてもらい、子ども支援日本医師会宣言の推進に資する。

調査対象：都道府県医師会

調査内容：①子ども支援日本医師会宣言に掲げる施策（８を除く）の中で、都道府県医師会及び管下郡市区医師会において先駆的に行われている、事業をそれぞれ選び（複数可）、その事業名等を回答してもらう。

②上記の中で最も先駆的に行われている事業については、具体的に回答をしてもらう。

調査票締切日：平成19年9月18日（火）

問合せ先：日本医師会地域医療第3課
電話番号 03-3942-8181

子ども支援日本医師会宣言に関する調査

都道府県医師会名: _____ 医師会

記入者名: _____ 役職: _____

連絡先電話番号: _____

《問い合わせ先》

日本医師会地域医療第3課

電話番号:03-3942-8181

FAX 番号:03-3946-2684

Mail:c3@po.med.or.jp

※該当する数字に○をつけ、空欄にご記入ください。

※実施医師会名、事業名等、複数回答可。

問1:妊娠を望む人たちへの支援を行っていますか

1. はい →

実施医師会名 (_____) 医師会
事業名

実施医師会名 (_____) 医師会
事業名

2. いいえ → 今後、新たに予定している事業などありますか

1. はい → 事業名または内容

(_____)

2. いいえ

問2:より安全な妊娠・出産に向けての医療環境の充実を行っていますか

1. はい → 実施医師会名 () 医師会
事業名

実施医師会名 () 医師会
事業名

2. いいえ → 今後、新たに予定している事業などありますか

1. はい → 事業名または内容

[]

2. いいえ

問3:満足できる妊娠・出産に関する社会環境の整備を行っていますか

1. はい → 実施医師会名 () 医師会
事業名

実施医師会名 () 医師会
事業名

2. いいえ → 今後、新たに予定している事業などありますか

1. はい → 事業名または内容

[]

2. いいえ

問4:子どもが育ちやすい医療環境の充実を行っていますか

1. はい → 実施医師会名 () 医師会
事業名

実施医師会名 () 医師会
事業名

2. いいえ → 今後、新たに予定している事業などありますか

1. はい → 事業名または内容

()

2. いいえ

問5:子育てに関する社会環境の整備を行っていますか

1. はい → 実施医師会名 () 医師会
事業名

実施医師会名 () 医師会
事業名

2. いいえ → 今後、新たに予定している事業などありますか

1. はい → 事業名または内容

()

2. いいえ

問6:学校保健の充実を行っていますか

1. はい → 実施医師会名 () 医師会
事業名

実施医師会名 () 医師会
事業名

2. いいえ → 今後、新たに予定している事業などありますか

1. はい → 事業名または内容

()

2. いいえ

問7:障害児への支援を行っていますか

1. はい → 実施医師会名 () 医師会
事業名

実施医師会名 () 医師会
事業名

2. いいえ → 今後、新たに予定している事業などありますか

1. はい → 事業名または内容

()

2. いいえ

問8:上記の中で最も先駆的に行われていると貴会が考える事業について、一つ選び具体的にご記入下さい

事業名	
事業開始の年	
事業の具体的内容	
行政からの補助金の有無	有 ・ 無

◎上記事業に関する資料等ございましたら、返信の際、添付をお願いいたします。

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

日本医師会母子保健検討委員会委員

委員長 前川 喜平（神奈川県立保健福祉大学大学院教授）

副委員長 柏井 洋臣（和歌山県医師会長）

〃 渡邊 信雄（福島県いわき市医師会理事
／福島県小児科医会会長）

委員 池田 琢哉（鹿児島県医師会副会長）

〃 池ノ上 克（宮崎大学医学部産婦人科学教授）

〃 石渡 勇（茨城県医師会常任理事）

〃 牛山 允（東京小児科医会副会長）

〃 内海 裕美（東京都小石川医師会理事）

〃 及川 馨（島根県出雲医師会理事）

〃 城 守（北海道医師会理事）

〃 鈴木 紀元（兵庫県医師会常任理事）

〃 西牟田敏之（国立病院機構下志津病院名誉院長
／千葉県小児科医会会長）

〃 原 正守（静岡県医師会理事）

〃 樋口 正俊（元東京都医師会理事）

〃 保科 清（日本小児科医会会長）

〃 和氣 徳夫（九州大学病院産婦人科教授）

子ども支援

日本医師会宣言

日医は子ども支援の先頭に立ちます。

わが国では少子化が急速に進行し、
その対策はいまや21世紀における最重要課題になっています。

日本医師会は、母と子に関する医療・保健・福祉環境の
整備等を推進し、次世代を担う子どもたちが心身ともに
健やかに育つよう、ここに妊娠・出産・子育てに関する
「子ども支援日本医師会宣言」を行います。

2006年5月16日



社団法人日本医師会

日本医師会は子ども支援の先頭に立って、
以下の施策に積極的に取り組みます。

1. 妊娠を望む人たちへの支援

- ① 不妊・不育治療の充実
- ② カウンセリング機関の整備

2. より安全な妊娠・出産に向けての医療環境の充実

- ① 妊産婦死亡、周産期死亡減少のための周産期ネットワークの構築
- ② ハイリスク妊娠の選別と対応する地域医療システムの構築
- ③ 分娩施設における周産期医療スタッフの充実
- ④ 母子感染予防対策の充実
- ⑤ 無過失補償制度の確立

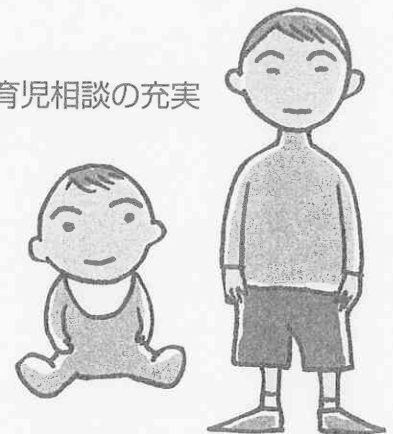


3. 満足できる妊娠・出産に関する社会環境の整備

- ① 出産一時金増額の実現
- ② 若年妊婦と就労妊婦への支援

4. 子どもが育ちやすい医療環境の充実

- ① 乳幼児医療費助成制度の拡充
- ② 15歳までの医療費1割負担の実現
- ③ 小児救急医療体制の整備
- ④ ペリネイタルビジット(周産期小児保健指導)、乳幼児健診、育児相談の充実
- ⑤ 予防接種の充実と接種率の向上
- ⑥ 子どもに関する難治性疾患治療及び先端医療の充実
- ⑦ 子どもに対する臓器移植の推進



5. 子育てに関する社会環境の整備

- ① 病児保育の充実
- ② 保育所、幼稚園への協力
- ③ 子育てサークルや子育てサロン等との連携と支援
- ④ 子育てをしている親の就労環境の整備
- ⑤ 子育てに専念している親への支援
- ⑥ 同じ年頃の子どもたち同士で遊べる環境の整備への支援
- ⑦ 虐待の予防と早期発見
- ⑧ 子どもの権利に関する条約に基づく環境整備



6. 学校保健の充実

- ① 生命を尊重する心を育む取り組み
- ② 性教育、性感染症予防対策の充実
- ③ 禁煙教育の推進
- ④ 生活習慣病対策
- ⑤ 心の問題への取り組み



7. 障害児への支援

- ① 医療的ケアの充実
- ② 長期入院障害児の後方ベッド確保の推進
- ③ 特別支援教育への協力

8. 政府等関係各方面への協力と働きかけ

- ① 産科医、小児科医、助産師の不足と偏在を解消する施策の推進
- ② 子どもの心の診療医を育成するための施策の推進
- ③ 小児保健法の制定
- ④ 妊娠・出産・子育てに対する税制の優遇





子ども支援日本医師会宣言

1. 妊娠を望む人たちへの支援に取り組みます。
2. より安全な妊娠・出産に向けての医療環境の充実を図ります。
3. 満足できる妊娠・出産に関する社会環境の整備に取り組みます。
4. 子どもが育ちやすい医療環境の充実を図ります。
5. 子育てに関する社会環境の整備に取り組みます。
6. 学校保健の充実を図ります。
7. 障害児などへの支援に取り組みます。
8. 子どもや子育て支援のための諸施策について政府等関係各方面への働きかけを行います。

社団法人 日本医師会

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

TEL 03-3942-8181 (地域医療第三課直通) FAX 03-3946-2684 <http://www.med.or.jp/>

2006年 5月